捃拾帖

十六

A 00
6010

明治十年九月二日　日曜日　第十四號

定税遞送免許

東京銀座彫刻會社石印

男爵田中[illegible]氏寄贈
先代田中芳男男旧蔵書
昭和七年

A00-6010

東京國立博物館圖書之印

日本

有用動物見本

紀元二千五百三十八年

明治十一年三月

USEFUL PRODUCTS OF THE ANIMAL KINGDOM.

Collected by Museum, Tokio, Japan

B 61009

領収之證

[illegible]

驛遞寮

収領之證

一 [illegible]

五月十六日

工部省

公布

○乙第二十九號　府縣

諸拜借金證文差出シ方ノ儀ハ明治八年當省乙第六十壹號ヲ以相達置候自今東京府ヲ除ノ外驛遞局假證書ヲ可相渡候條該金郵送其廳ヘ到達ノ上定規ノ證文國債局長宛ニ相認メ驛遞局ヘ迅速可差出此旨更ニ相達候事

但本文乙第六拾壹號達ニ照シ既ニ證文差出置候分ハ從前ノ手續キヲ以テ金額可相渡候事

明治十年九月一日

大藏卿大隈重信代理
大藏大輔松方正義

○甲第八拾五號

今回戰鬪ニ因テ傷夷ヲ受ケタル軍人軍屬療養ノ上殆ントト平愈シ現下醫官ノ治術ヲ要セス日ヲ逐テ全愈ニ赴クト雖モ現役ニ服スル不能者ハ恩給可下賜ノ處卽今實踐難相成ニ付右等ノ者ハ病院長及ヒ主任軍醫連署診斷書ヲ以テ當分歸鄕療養爲致置キ追テ傷項策定候ニ付歸鄕中心得方假規則別紙通相定候旨達有之候條布達候事

明治十年九月一日

東京府知事楠本正隆

鹿兒島賊徒征討ニ因リ傷痍ヲ受ル者歸鄕中假規則

第一條　軍人軍屬トモ俸給ハ都テ其本俸ノ半額ヲ給シ下士及同相當官諸卒ハ隊附隊外ヲ不問別ニ爲食料一日金十二錢ヲ給スヘシ

但月末毎ニ所管ヨリ府縣廳ニ送附シ府縣廳ヨリ本人ニ下付スヘシ

第二條　被服ハ出發ノ節病衣一具ヲ給スヘシ

但初度給與ノ外換給スルコナシ

第三條　凡ソ一身上ニ係ル事柄ハ何事ニ依ラズ總テ允可ヲ得ザレバ之ヲ行フコヲ許サズ

第四條　其症候再感スルトキハ陸軍醫官ノ診斷ヲ乞ヒ治療ヲ受ケ可シ然レドモ陸軍醫官不在ノ地ニ於テ地方醫師ノ診斷ヲ受ルトキハ診察料及ヒ藥價ハ詮議ノ上官費ニテ可仕拂ニ付該醫員診斷書ヲ以テ戸長區長ヘ申出戸長區長奥書調印ノ上府縣廳ヲ經テ本人所管ヘ願出ヘシ

第五條　療養中ト雖トモ非違犯罪アルトキハ軍律ニ照シ處斷ヲナスヘシ

第六條　前條ノ外歸鄕中ハ平時歸鄕中心得方之通ニ遵守スヘシ

B 61009

通運物受取證

届先 宿所 姓名	
届先取調	
量目	
定式運賃	

前記貨物當社物貨取扱規則御承知附正ゝ受取送達可仕候也

明治　年　月　日

内國通運會社
出張所

封印 立會 改濟

真製 海苔時雨煮

御進物御土産等入念奉調進候

品川新宿坂
大村屋庄兵衛

越後
高田下小町
御菓子所
陸奥屋製

花見炭團

此炭團ハ花見遊山ニ携ふ為の料に製したるなれど角力芝居あそびの
棧敷ニても用ひて甚だ便りよし用ひ法ハ火入の灰ニ較なく此炭を
埋みおき小口に摺附木にてまづいきくつの火を付つけおきなば忽ちに炭ニ
うつりて七時間を保つべし故に諸方の君子あまねく愛して四時ニ埋ミ
火ニ用ひ給はんことを希ふになん

製元
廣島縣下安藝國沼田郡新庄村
山本孫兵衛

來月三日
天長節ニ付各國公使等延遼館ヘ相招
候ニ付同日午後八時ヨリ九時迄ニ同
館ヱ御參會有之度候也
但禮服着用之事
明治十年十月　日
外務卿

東京今川町
田中芳男様

大日本
陸前雄勝
玄昌石硯
東京築地新栄橋
石盤硯製造所

明治十年略暦
東京大阪頒暦商社

頒暦證

李家
東海道水口駅東今町
桝屋藤七郎

越後
高田下小町
御菓子所
陸奥屋製

花見岩園

料に製したる品なれど角力芝居おもちやの
用ひ法ハ火入の灰炭較ぶれバ此炭と
いきくらの火炭ゆしおなじ盛まちち炭を
携べ四方乃君子めでゝ愛して四時れ埋ミ
よな舞

藝國沼田郡新庄村　山本孫兵衛

規則

一他見ヲ憚カラス又ハ封ヲ要セサル短文通ヲ低税ニテ往復ノ便宜ヲ開クヘキ爲メ之ヲ各地郵便役所及ヒ取扱所ニテ可賣下事

一市内ノ往復ニ用フルハ半錢ノはがき印紙國内ヲ通シテ用フル分ハ一錢ノはがき印紙ヲ可用事

一郵便役所及ヒ取扱所無之在村ヘ差出スキハ之ニ一錢ノ増郵便切手ヲ張付可申然ラサレハ信書等ノ如ク屆ケ先ヨリ一倍ノ増税可拂事

一此はがき印紙ハ三府五港郵便役所ニ於テ百枚以上ヲ一度ニ買フ者ハ五分減二百枚以上ハ一割減ニテ買ヒ得ヘキ事

一此はがき印紙ノ面ニ郵便切手等ノ模樣有之節ハ先方ノ宿所姓名ヲ限リ認ムヘシ且郵便切手ノ摸樣ヘ少シモ墨ノ附カサル樣ニ心ヲ用フヘシ聊ニテモ墨ノ跡ナト有之トキハ繼立不致廢紙ト可致事

一此面ヘハ決シテ文字等ヲ不可認事

花頭殿ニ於府中ニ而[illegible]
雅楽寮ニ而来ル二十二日午後
十一時迄ニ[illegible]
着物[illegible]
[illegible]候[illegible]

來月三日
天長節ニ付各國公使等延遼館ヘ相招候ニ付同日午後八時ヨリ九時迄ニ同館ヱ御參會有之度候也
但禮服着用之事

明治十年十月　日

外務卿

明治十年略暦
四方拜 一月一日
元始祭 一月三日
新年宴會 一月五日
孝明天皇祭 一月三十日
紀元節 二月十一日
神武天皇祭 四月三日
神嘗祭 九月十七日
天長節 十一月三日
新嘗祭 十一月二十三日
(大) 一三五七八十十二
(小) 二四六九十一
東京大阪頒暦商社

大日本
陸前雄勝
玄昌石硯
東京築地新榮橋
石盤硯製造所

本家

正札附現金
大安賣
藤細工
東海道水口驛東谷村
桝屋藤七郎

御菓子

東京 両國若松町 御菓子調進所 凮月堂出

三千歳

本元製所

東京第四大區三小區 小石川諏訪町六番地

洋菓舗 小西清兵衛

内國博覽會へ。此度菓子出品に相成。普く世上へ弘まる事を願ふなり。四方の君子試に用ひて。大いに益有事と知り給ふ可し

東菓子ミルク MILKCAKE

ミルクと申すは。西洋にて牛の乳[illegible]製したる品[illegible]。効能の事は人々[illegible]

[illegible]

此菓子の[illegible]世間に[illegible]相見へ候[illegible]町所名前[illegible]御吟味の上御求め下さる[illegible]候

價貳拾錢

[illegible]此菓子ミルクの儀[illegible]西洋牛乳[illegible]

官等表

		一等	二等	三等	四等	五等	六等	七等	八等	九等	十等	十一等	十二等	十三等	十四等	十五等
太政官	正院	太政大臣 左大臣 右大臣 参議		大内史	権大内史 大外史	少内史 権大外史	権少内史 少外史	権少外史	大主記	権大主記	中主記	権中主記	少主記	権少主記		
	左院	議長	副議長	大議官	中議官	少議官	大議生	中議生	少議生 大掌記	権大掌記	中掌記	権中掌記	少掌記	権少掌記		
	右院	諸省長官	仝次官													
一等	式部寮			頭	権頭	助	権助	大掌典	中掌典 大属	[illegible]	中属	[illegible]	[illegible]	[illegible]		
	外務省	卿	大輔 大弁務使	少輔 中弁務使	大丞 少弁務使	少丞 総領事	大記 領事	少記 副領事	大録 [illegible]	権大録	中録	権中録	少録	権少録		
	大蔵省	卿	大輔	少輔	大丞	少丞			大録	権大録	中録	権中録	少録	権少録		
一等	[illegible]寮			頭	権頭	助	権助		大属	権大属	中属	権中属	少属	権少属		
二等	[illegible]寮				頭	権頭	助	権助	大属	権大属	中属	権中属	少属	権少属		
三等	[illegible]寮					頭	権頭	助	大属	権大属	中属	権中属	少属	権少属		
一等	正算司						正	権正	大令史	権大令史	中令史	権中令史	少令史	権少令史		
	陸軍省	卿	大将 大輔	中将 少輔	少将 大丞	大佐 少丞	中佐	少佐	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]		
二等	兵学寮				頭	大教授 権頭	中教授 助	少教授 権助	[illegible]	[illegible]	[illegible]	権中属	少属	権少属		
同	軍医寮				頭	一等軍医正 権頭	二等軍医正 助	一等軍医 権助	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	少属	権少属		
二等	[illegible]司						正	権正	大令史	権大令史	中令史	権中令史	少令史	権少令史		
	陸軍裁判所					長	評事	権評事	大主理	[illegible]	[illegible]	[illegible]				
	海軍省	卿	大将 大輔	中将 少輔	少将 大丞	大佐 少丞	中佐	少佐	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]		
二等	兵学寮				頭	大教授 権頭	中教授 助	少教授 権助	[illegible]	[illegible]	[illegible]	権中属	少属	権少属		
二等	武庫司						正	権正	大令史	権大令史	中令史	権中令史	少令史	権少令史		
	文部省	卿	大輔 大博士	少輔 中博士	大丞 少博士	少丞 大教授	中教授 大監	少教授 少監	[illegible]	[illegible]	[illegible]	権中録	少録	権少録		
二等	編輯寮				頭	権頭	助	権助	大属	権大属	中属	権中属	少属	権少属		
	教部省	卿	大輔	少輔	大丞	少丞			大録	権大録	中録	権中録	少録	権少録		
	工部省	卿	大輔	少輔	大丞	少丞			大録	権大録	中録	権中録	少録	権少録		
一等	[illegible]寮			頭	権頭	助	権助		大属	権大属	中属	権中属	少属	権少属		
二等	[illegible]寮				頭	権頭	助	権助	大属	権大属	中属	権中属	少属	権少属		
一等	測量司						正	権正	大令史	権大令史	中令史	権中令史	少令史	権少令史		
	司法省	卿	大輔 大判事	少輔 権大判事	大丞 中判事	少丞 権中判事	少判事	権少判事	大録 大解部	権大録 権大解部	中録 中解部	権中録 権中解部	少録 少解部	権少録 権少解部		
一等	明法寮			頭	権頭	助	権助		大属	権大属	中属	権中属	少属	権少属		
	宮内省	卿	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	少侍医	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	少録	[illegible]		
二等	[illegible]司							正	大令史	権大令史	中令史	権中令史	少令史	権少令史		
	開拓使	長官	次官		判官	権判官		監事	権監事	大主典	権大主典	少主典	権少主典	史生	使掌	
	府			知事	権知事	参事	権参事		典事	権典事	大属	権大属	少属	権少属	史生	府掌
	縣				令	権令	参事	権参事	典事	権典事	大属	権大属	少属	権少属	史生	縣掌

以上勅任（三等まで）　以上奏任（七等まで）以下判任

陸海軍少将ハ勅任トス
府ニ開港開市場アルハ権知事ヲ勅任トシ縣ニ開港場アルハ其令ヲ勅任トス権令ハ其例ニアラス
[illegible]

神官官等并月給表

教部省管轄	一等	二等	三等	四等	五等	六等	七等	八等	九等	十等	十一等	十二等	十三等	十四等	十五等	等外一等	等外二等	等外三等
神宮	祭主 八十両				大宮司 四十両	少宮司 三十両		皇大神宮禰宜 二十両	豊受大神宮禰宜 十五両	同 権禰宜 [illegible]	同 主典 [illegible]	同 権主典 [illegible]	同 宮掌 [illegible]					
官幣国幣大社							大宮司 [illegible]	少宮司 [illegible]			禰宜 [illegible]	権禰宜 [illegible]	主典 [illegible]					
官幣国幣中社									宮司 [illegible]	権宮司 [illegible]		禰宜 [illegible]	権禰宜 [illegible]	主典 [illegible]				
官幣国幣小社										宮司 [illegible]	権宮司 [illegible]		禰宜 [illegible]	権禰宜 [illegible]				
府縣社															祠官 五両		祠掌 三両	
郷社																祠官 四両		祠掌 二両

教導職等級表

一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級	十一級	十二級	十三級	十四級
大教正	権大教正	中教正	権中教正	少教正	権少教正	大講義	権大講義	中講義	権中講義	少講義	権少講義	訓導	権訓導

大教正以下俸給ナシ一級ハ官等二等ニ準ス以下倣之

工部省各科工業等級并月給表

	四等	五等	六等	七等	八等	九等	十等	十一等	十二等	十三等	十四等	十五等	
	都検	大長	中長	少長	上師	中師	少師	大手	中手	少手	一等見習	二等見習	等外見習
一等	三百七十両	二百八十両	二百二十両	百七十両	百三十両	百両	七十両	八十両	六十両	四十両			
二等	三百三十両	二百五十両	二百両	百五十両	百二十両	九十両	六十両	七十五両	五十五両	三十五両			
三等					百十両	八十両	五十両	七十両	五十両	三十両			
四等								六十五両	四十五両	二十五両			
見習上級											十八両	十四両	九両
見習中級											十七両	十三両	八両
見習下級											十六両	十二両	七両
心得	出仕 二百五十両	出仕 二百両	出仕 百五十両	出仕 百両	出仕 七十両	出仕 五十両	出仕 四十両	出仕 三十両	出仕 二十五両	出仕 二十両	出仕 十五両	出仕 十二両	

[illegible]

女官 宮内省女官等級

一等	二等	三等	四等	五等	六等	七等	八等	九等	十等	十一等	十二等	十三等	十四等	十五等	等外一等
	尚侍 [illegible]		典侍 [illegible]	権典侍 [illegible]	掌侍 百両	権掌侍 [illegible]	命婦 [illegible]	権命婦 [illegible]			女嬬 [illegible]	権女嬬 [illegible]			雑仕 七両

式部寮楽部[illegible]等級

一等	二等	三等	四等	五等	六等	七等	八等	九等	十等	十一等	十二等	十三等	十四等	十五等	等外一等
										内掌典 [illegible]	権内掌典 [illegible]				雑仕 [illegible]

第何大區何小區何町何番地何住居

全鑑

何官何族

何之誰

國何郡何所出生

某縣府貫屬士華族僧侶平民

某大區某小區某町村住某或官名某長弟二男兒尼介

何之誰

何年何个月

右者為測量筭術英學稽古入社塾御頼申候ニ付而者御塾則違犯不致候様申聞候且本人身上之儀者都而引請可申候

年号月日

某縣府貫屬士華族僧侶平民

何官出仕

引請人姓名印

近藤真琴殿

窓の月

飯田町

岩瀬製

四ツ角

店目印

姫路名産

本

電信局前東二階町

本家革細工所

木屋市平

御用 若州

塗師 荒木

羊肉

勧農局

下總種畜場試製

大傳馬町弐丁目

御掛物師

市川堂

極製 氷掛 金米糖

風流 御菓子

極製 四季 物類

第何大區何小區何町何番地何住居

何國何郡何所出生
某府縣貫屬士華族僧侶平民
某大區某小區某町村住某或官名某長二男兄弟厄介
何之誰
何年何个月

右者為測量筭術英學稽古入社塾御頼申候ニ付而者御塾則違犯不致候様申聞候且本人身上之儀者都而引請可申候

年号月日

某府縣貫屬士華族僧侶平民
何官出仕
引請人姓名印

近藤真琴殿

窓り月

岩瀬製

御用 若州
塗師 荒木

店目印
姫路名産
本
電信局前東二階町
本家革細工所
本屋布平

羊肉
勸農局
下總種畜場試製

大傳馬町壹丁目
御掛物師
市川堂弘通

氷掛 金米糖
風流 御菓子
四季 物類

家傳

三河屋安兵衛

御膳 きぬごし 笹乃雪

根岸 二軒茶屋

玉[illegible]

熊本縣 森尾母太郎 高木晋 製

此調理鮮肉ハ歳月を經るとも腐敗せざる者なれバ兼て家内ニ貯へ置き又ハ遠方へ持行き杯して常ニ滋養の食餌ニ差支なからしめ或は吸物と爲し或は鉢肴ともして臨時來客の饗應を辦じ殊ニ老人病客の補養ニハ此上なき良藥ニして且つ珍味なり

官

調理鮮肉

BOILED-BEEF.

牛肉

此罐を開くニハ小刀を以て上の蓋の小口をグルりと丸く切り開くべし○開きたる後ハ冬ニて七日くらゐ暑中ハ一兩日その外ハ時候ニ依四日五日ぐらゐ保つべし○肉の用ひ方ハ湯煎か又ハ炭火ニて温め醬油またハ燒鹽ニて好み次第ニ味を付けて食すべし

賣弘

東京銀座 精錡水本舖 岸田吟香

同 三丁目 臭氣止本舖 末廣軒

巴威里亞國貴族ヒリップ、フオン、シーボルト氏記念塔ヲ勸進スル記

歐洲各邦ニ於テ亞細亞東方ノ風土履歴ヲ研究スル學者或ハ萬國ノ本草學者及ヒ花木ヲ培養スル植物學者等ハ一人トシテ故人シーボルト氏ノ功績ヲ崇仰セサルハナシ嗚乎惜哉此人一千八百六十六年門占府ニ於テ病ヲ以テ歿セリ其世ニアルノ間主トシテ日本國ノ事情ヲ歐洲ニ通知セシメントスルヿヲ希望シ乃チ一千八百二十三年八月十一日初テ日本國ヘ航セシヨリ或ハ醫學風俗學究理學又交際ニ關係スル事務ヲ勤テ日本國ノ風土產業ヲ悉ク歐羅巴ニ施スヿヲ意トシ竟ニ驚クヘキ功績ヲ歐洲ニ彰セシヨリ其名近時交際上或ハ學問上ニ於テ著キ大關係ヲナセリ蓋ニシーボルト氏ノタメニ工術ニ巧ミニシテ天賦ノ富ヲ有セシ日本國ノ東方ニ於テ他邦ヨリ先チ歐洲ト接近シタルノ勢トナレリ是ヲ以テ西國ノ學者等ハシーボルト氏ヲ指テ再ヒ日本國ヲ學問上ニテ發見シタル人ト名ケシ宜ナル哉シーボルト氏ハ學術ヲ研究スルノミナラス餘力アレハ必ス交易ノ道ヲ兼講セリ而レ𪜈其目的トスル所ハ日本國ニ生スル植物ノ理ヲ究ノ其花卉ノ愛觀スヘキ物ヲ漸次ニ歐洲ニ移栽セント欲シ終ニ草木ノ類五百餘種ヲ本國ニ移栽シ現ニ生植繁茂スルニ至レリ而ノ歐洲中土ノ如キ烈寒ノ地ニ於テ其土宜ヲ見テ保存スヘキ培養ノ方ヲ施セリ故ニ各國各都ノ公園ニ於テ之ヲ栽培セザルハナシ

シーボルト氏斯ノ如ク苦心講求スル三十年之ガタメニ歐洲中培養家ノ其裨益ヲ受ルヿ豈ニ大ナラズトセンヤ其世ニアルヤ功績ノ著明ナルヿ固ヨリ其身ヲ以テ最モ壯大ナル記念塔ヲ建造スルガ如キモノナリ又歐洲全土ノ諸園中ニ於テ每年愛觀スヘキ花木ヲ見レハ則チ此人ノ記念塔ヲ其花上ニ見ルガ如ク其人ヲ想像セザルナシ然レ𪜈吾輩ニ於テハ此花ヲ以テ充分ノ記念塔ト見做スヿ能ハズ是ヲ志ヲ屈セザルノ航海者懇篤ナル究理學者遠大ノ思慮アル經濟學者ト稱シテ可ナリ故ニ其人ノタメニ記念塔ヲ實地ニ造立シ其像ヲ後世ニ傳テ以テ學者ニ敎示センヿヲ思フ乃同時ニアリシ同志ノ人モ本草ノタメニハ特別ナル功勞ヲ思ヒ相共ニ謀リテ一千八百七十三年各國ノ本草家及ヒ培養家數名維也納府ニ於テ各國ノ本草公社ヲ開キシ時ニ當リ澳地利國ノ皇帝ノ本草培養家ノ社中長官等其席上ニ於テ揚言シテ曰ク故人シーボルト氏ノ記念塔ヲ建造センヿハ萬國有志ノ者ニ關係セント問ヒシニ各國ノ議員感欣シテ同意センヿヲ請ヒタリ是ニ於テ其建造スヘキ地ハシーボルト氏ノ生地巴威里亞國ノ澳堡ニ於テト策センヿヲ議定セリ而澳地利國皇帝ノ培養家公社ニ於テ此擧ヲ施行スヘキ委任ヲ受タリ

斯ノ如キ衆多ナル合議ニ於テ敢テ異議スル者ナク悉ク同意セシヿナレハ吾輩思惟スルニ歐洲全土中ニ於テ一般草木ヲ好ミ及ヒ培養家等ハ此擧ニ協同センヿハ疑ヲ容レサルナリ總テ此擧ニ與リシ各人等ハ善良ナル目的ヲ立テ注意盡力シテ其功ヲ遂ケンヿヲ思ヘリ故ニ澳地利國皇帝ノ培養家公社ノ長ニテ記念塔建築ノ事務局ヲ設ケ開ケリ而メ歐洲ニテ有名ナル學者及ヒ本草學者等ハ此本社ノ建設ヲ協同スルタメニ各所ニ於テ支局ヲ開キ其支局ノ漸次ニ增加スルヿハ本局ニ於テ希望スル所ナリ且シーボルト氏ヲ貴ブ各人此擧ニ從事センヿヲ望マハ則其旨趣ヲ詳記シテ澳地利國皇帝ノ培養家公社ノ長官ヘ報知アランヿヲ希フ且ツ本局ト支局ト合併スル後ニ其行フヘキ事務衆議センヿヲ思フ因テ支局ノ所在地名ハ此擧ニ關係セシ人ニ他日ヲ以テ廣告セン

此事務ノ整備シタル報告ハ一千八百七十五年「カルスル」ニ於テ各國本草僉議ノ時ニ當リテ詳細報知スヘシ當今ヒルホルク府ニアル市政ノ官員ト謀リ此記念塔ヲ設タヘキ場所ヲ用意センヿヲ篤ク承諾セリ其記念塔ノ形狀及ヒ方法ノ如キハ此事務ニ關係スル人ニ依リ其募集セシ金額ノ多寡ヲ以テ定ムヘシ且シーボルト氏ヲ尊信シ或ハ愛敬シ及ヒ其著述上ニ於テ惠ヲ受ケ其功業ニ就テ益ヲ受タル各人ハ此事務局ノ目的ヲ以テ體認シテ自己ノ目的トナシ一樣ノ事ト見做スヘカラス彼我ヲ論セス其近傍ニ於テ力ヲ竭シ注意シテ其建設ヲ盛大ニ行フヿヲ希望スシーボルト氏記念塔ヲ建設スル問合書翰ハ澳地利皇帝ノ培養家公社ノ長官名宛ニシテ遞送スヘシ此別紙ニ記シタル表ニ隨ヒ各自速ニ寄附ノ資本ヲ出サンヿヲ希望ス

一千八百七十四年十月維也納府ニ於テ

事務局代理
澳地利國皇帝ノ本草學公社
副議長 ドクトル、エドワルド、ヘンゼル
總理書記官 ゲ、シレンホッフェル
議官 ロータル、アーベル、
同 ダニエル、ホイプレンク
同 ドクトル、ハインリヒ、ウサルヘルム、ライヒハルト

姓名	族	住所	金額

澳地利皇家農學會社ニ於テ會議一決シテ「シーボルト」氏ノ記念塔ヲ建ント欲スル企アリ是ニ於テ我輩ノ如キ「シーボルト」ニ親炙シソノ敎諭ヲ受ケ醫術本草ヲ學ビシ者竊ニ欣喜ニ堪ヘズシテ其盛擧ノ萬分ノ一ヲ助ケント欲スルナリ我輩ニ斯ノ如キ志アルヲ以テ之ヲ推セハ日本國兄弟ノ中ニ豈ニ我ト志ヲ同ジウスル者ナカラザランヤ因テ我二人發起人トナリ同志者ヲ募リ寄附金ヲ集メ彼農學會社ニ送リ致シ以テ「シーボルト」氏ノ我邦ニ功益アルヿヲ表セント欲スルナリ但シ同氏ノ東洋ニ航シ我邦ノ動植ヲ研究シ藥材ヲ發明シ又風俗物產ヲ檢査シ歐人ヲシテ同氏ヲ稱シテ學問上ニテ日本ヲ再ヒ

發明セシ人ト言ハシムルニ至リシハ同氏ノ歐羅巴ニ功アル者ニシテ此事ハ彼農學會社ノ募建記念塔ノ文ニ載セタレハ茲ニ復タ贅スルヲ須ヰス我輩今特ニ「シーボルト」氏ノ我邦ニ功アリシ事ヲ擧ソ第一ニハ西洋ノ醫學本草學ヲ我邦ニ盛ニシタル事ニシテ是顯然トシテ見易ク人々ノ知ル所ナリ第二ニハ我邦ノ洋學ニ功アリシ事ナリ第三ニハ我邦ノ政治ニ功アリシ事ナリ此二者ハ多ク世人ノ著意セサルモノタリ抑「シーボルト」崎陽ニ於テ盛ンニ醫ヲ行ヒ治効ヲ著ハシ本草ヲ講シテ新説ヲ傳ヘ是ニ由テ衆人ノ信用ヲ得遠方ヨリ來リ學ブ者アルニ至リ我輩マタ其中ノ人ニシテ其業ヲ受ケ益ヲ得シ者ナリ斯ノ如ク兩國ノ醫術漸ク盛ンナルニ由リテ洋學マタ隨テ開ケ究理學舍密學等モ其端緒ヲ知ルモノ往々其人少カラザルニ至レリ是此ノ學ニ功アリトスル所以ナリ其他同氏ヲ以テ我邦ノ政治ニ功アリトイフ事ハ嘉永癸丑「伯理」ノ入港セシトキ攘夷ノ説ヲ唱フルモノ多シト雖𪜈洋學者アルニ頼テ歐米諸國ノ事情ヲモ知リ遂ニ鎖國ヲ開キ條約ヲ結ヒ互市ヲ通シ今日ノ如キ文明ニ進歩スル形勢トナレリコレ洋學者ノ功ト言ハザル可ラス而メ其由テ基ツク所ヲ推セハ幾分カ其功ヲ「シーボルト」氏ニ歸セザル可ラスコレ我邦ノ政治ニ功アリシトイフ所以ナリ但シ「シーボルト」氏ヨリ前ニ新井白石ノ如キハ伊人「ヨハン」ノ説ヲ聽キ彼國ノ事情ヲ研究シ書ヲ著ハセリ其他師傳ヲ假ラスシテ蘭書ヲ讀ミ譯述ニ從事セシ奇傑ノ士志築柳圃杉田玄伯大槻玄澤宇田川三世等ノ如キモノナキニ非ス然レ𪜈「シーボルト」氏ニ至テ西國ノ學術風俗愈顯レタリ是等ヲ觀テモ「シーボルト」氏ノ記念塔ノ擧我輩ノ徒ヲシテ袖手旁觀スヘキニ非ス因テ敢テ發起人トナリ我國同志者ヲ募リ其多少ニ限ラス出金アランヿヲ望ムナリ本月九日大隈大藏卿寺島外務卿佐野議官伊荷澳日四國ノ公使等黑田老侯ノ邸ニ會ス老侯ノ「シーボルト」ニ於ルヤ本草學ニ就テ交誼亦淺カラザリシヲ以テ乞テ議長ノ任ニアラシム且ツ我輩敢テ幹事ノ列ニ加ハリ專ラ此事ヲ司トル因テ筆ヲ把リ四方ノ君子ニ告ルト云爾

明治八年九月

戸塚静海
伊藤圭介

東京第四大區二小區
小川町今川小路二丁目九番地
田中芳男様

東京第一大區十五小區
亀島町一丁目三十八番地
戸塚文海様

東京第一大區十五小區
亀島町一丁目三十八番地
戸塚静海

同第四大區七小區
本郷真砂町十四番地
伊藤圭介

シーボルト氏記念塔設立之擧ニ御協同有之度因テ別記壹枚外ニ名刺書白紙相添差進候間尊名幷寄附金之員數共左之雛形之通御自筆ニテ御認メ本月中取扱人兩名之内ヘ御投與相成度然ル時ハ「シーボルト」氏畫像壹枚其金員ヲ記シ受取證トシテ可致進呈候間其節差出候人員ヘ右金圓御渡被下度候也

但シ尊名必ス御自筆ニ御認被下度儀ハ御名刺集リ次第折帖ニ貼リ込惣金員ト共ニ澳地利國農學會社ヘ廻送可致故ニ候尤金員ハ一圓ヲ以テ一口ト相定候ニ付多少ニ拘ラス御寄附相成度候事

名刺雛形

金員 族 住所　何某

明治九年一月　日〇

幹事
戸塚静海
伊藤圭介

取扱人
第一大區十五小區
龜島町壹丁目三十八番地
戸塚文海

第四大區二小區
小川町今川小路二丁目九番地
田中芳男

シボールト氏記念塔設立之擧ニ御協同有之度因テ別記一枚外ニ名刺書白紙相添差進候間尊名幷寄附金之員數トモ左之雛形之通御自筆ニテ御認金圓相添取扱人兩名之内ヘ御郵送被下度然ル時ハ右受取證トシテ「シーボルト」氏畫像壹枚進呈可致候也

但シ尊名必ス御自筆ニ御認被下度儀ハ御名刺集リ次第折帖ニ貼リ込惣金員ト共ニ澳地利國農學會社ヘ廻送可致故ニ候尤金員ハ一圓ヲ以テ一口ト相定候ニ付多少ニ拘ラス御寄附相成度候事

名刺雛形

金員 族 住所　何某

明治九年一月　日〇

幹事
戸塚静海
伊藤圭介

取扱人
東京第一大區十五小區
龜嶋町一丁目三十八番地
戸塚文海

同第四大區二小區
小川町今川小路二丁目九番地
田中芳男

明治十一年略暦○皇紀二千五百三十八年○西洋一千八百七十八年

一月大 五日小寒 二十日大寒
日 六 十三 二十 廿七
月 七 十四 廿一 廿八
火一 八 十五 廿二 廿九
水二 九 十六 廿三 三十
木三 十 十七 廿四 卅一
金四 十一 十八 廿五
土五 十二 十九 廿六

二月平 四日立春 十九日雨水
日 三 十 十七 廿四
月 四 十一 十八 廿五
火 五 十二 十九 廿六
水 六 十三 二十 廿七
木 七 十四 廿一 廿八
金一 八 十五 廿二
土二 九 十六 廿三

三月大 六日啓蟄 廿一日春分
日 三 十 十七 廿四 卅一
月 四 十一 十八 廿五
火 五 十二 十九 廿六
水 六 十三 二十 廿七
木 七 十四 廿一 廿八
金一 八 十五 廿二 廿九
土二 九 十六 廿三 三十

四月小 五日清明 二十日穀雨
日 七 十四 廿一 廿八
月一 八 十五 廿二 廿九
火二 九 十六 廿三 三十
水三 十 十七 廿四
木四 十一 十八 廿五
金五 十二 十九 廿六
土六 十三 二十 廿七

五月大 六日立夏 廿一日小滿
日 五 十二 十九 廿六
月 六 十三 二十 廿七
火 七 十四 廿一 廿八
水一 八 十五 廿二 廿九
木二 九 十六 廿三 三十
金三 十 十七 廿四 卅一
土四 十一 十八 廿五

六月小 六日芒種 廿一日夏至
日 二 九 十六 廿三 三十
月 三 十 十七 廿四
火 四 十一 十八 廿五
水 五 十二 十九 廿六
木 六 十三 二十 廿七
金 七 十四 廿一 廿八
土一 八 十五 廿二 廿九

七月大 七日小暑 廿三日大暑
日 七 十四 廿一 廿八
月一 八 十五 廿二 廿九
火二 九 十六 廿三 三十
水三 十 十七 廿四 卅一
木四 十一 十八 廿五
金五 十二 十九 廿六
土六 十三 二十 廿七

八月大 八日立秋 廿三日處暑
日 四 十一 十八 廿五
月 五 十二 十九 廿六
火 六 十三 二十 廿七
水 七 十四 廿一 廿八
木一 八 十五 廿二 廿九
金二 九 十六 廿三 三十
土三 十 十七 廿四 卅一

九月小 八日白露 廿三日秋分
日一 八 十五 廿二 廿九
月二 九 十六 廿三 三十
火三 十 十七 廿四
水四 十一 十八 廿五
木五 十二 十九 廿六
金六 十三 二十 廿七
土七 十四 廿一 廿八

十月大 八日寒露 廿三日霜降
日 六 十三 二十 廿七
月 七 十四 廿一 廿八
火一 八 十五 廿二 廿九
水二 九 十六 廿三 三十
木三 十 十七 廿四 卅一
金四 十一 十八 廿五
土五 十二 十九 廿六

十一月小 七日立冬 廿二日小雪
日 三 十 十七 廿四
月 四 十一 十八 廿五
火 五 十二 十九 廿六
水 六 十三 二十 廿七
木 七 十四 廿一 廿八
金一 八 十五 廿二 廿九
土二 九 十六 廿三 三十

十二月大 七日大雪 廿二日冬至
日一 八 十五 廿二 廿九
月二 九 十六 廿三 三十
火三 十 十七 廿四 卅一
水四 十一 十八 廿五
木五 十二 十九 廿六
金六 十三 二十 廿七
土七 十四 廿一 廿八

一月三日 元始祭　仝五日 新年宴會　仝三十日 孝明天皇祭　二月十一日 紀元節
四月三日 神武天皇祭　九月十七日 神嘗祭　十一月三日 天長節　仝廿三日 新嘗祭

月食 二月十七日後六時五十八分カケハジメ九時五十五分ニハル
日帯食 七月三十日前五時一分カケナカラ出デ六時四分ニハル

活版印行所 東京銀座一丁目十三番地 日就社

鐘錶時刻比較略表

節氣	日出	日没	六ッ時 晝	六ッ時 夜	五ッ時 晝	五ッ時 夜	四ッ時 晝	四ッ時 夜	九ッ時 晝	九ッ時 夜	八ッ時 晝	八ッ時 夜	七ッ時 晝	七ッ時 夜
十一月中 冬至	七時十分十二秒	四時四十九分四十八秒	六時三十分三十六秒	五、二十九、二十四、	八時二十分二十四秒	七、三十九、三十六、	十時十分十二秒	九、四十九、四十八、	十二時	同	一時四十九分四十八秒	二、十、十二、	三時三十九分三十六秒	四、二十、二十四、
十二月節 小寒 十一月節 大雪	七時八分二十四秒	四時五十一分三十六秒	六、二十八、四十八、	五、三十一、十二、	八、十九、十二、	七、四十、四十八、	十、九、三十六、	九、五十、二十四、	同	同	一、五十、二十四、	二、九、三十六、	三、四十、四十八、	四、十九、十二、
十二月中 大寒 十月中 小雪	六時五十九分二十四秒	五時○分三十六秒	六、二十一、三十六、	五、三十八、二十四、	八、十四、二十四、	七、四十五、三十六、	十、七、十二、	九、五十二、四十八、	同	同	一、五十二、四十八、	二、七、十二、	三、四十五、三十六、	四、十四、二十四、
正月節 立春 十月節 立冬	六時四十六分四十八秒	五時十三分十二秒	六、九、	五、五十一、	八、六、	七、五十四、	十、三、	九、五十七、	同	同	一、五十七、	二、三、	三、五十四、	四、六、
正月中 雨水 九月中 霜降	六時三十二分二十四秒	五時二十七分三十六秒	五、五十六、二十四、	六、三、三十六、	七、五十七、三十六、	八、二、二十四、	九、五十八、四十八、	十、一、十二、	同	同	二、一、十二、	一、五十八、四十八、	四、二、二十四、	三、五十七、三十六、
二月節 啓蟄 九月節 寒露	六時十六分十二秒	五時四十三分四十八秒	五、四十、十二、	六、十九、四十八、	七、四十六、四十八、	八、十三、十二、	九、五十三、二十四、	十、六、三十六、	同	同	二、六、三十六、	一、五十三、二十四、	四、十三、十二、	三、四十六、四十八、
二月中 春分 八月中 秋分	六時	六時	五、二十四、	六、三十六、	七、三十六、	八、二十四、	九、四十八、	十、十二、	同	同	二、十二、	一、四十八、	四、二十四、	三、三十六、
三月節 清明 八月節 白露	五時四十三分四十八秒	六時十六分十二秒	五、六、	六、五十四、	七、二十四、	八、三十六、	九、四十二、	十、十八、	同	同	二、十八、	一、四十二、	四、三十六、	三、二十四、
三月中 穀雨 七月中 處暑	五時二十七分三十六秒	六時三十二分二十四秒	四、四十九、四十八、	七、十、十二、	七、十三、十二、	八、四十六、四十八、	九、三十六、三十六、	十、二十三、二十四、	同	同	二、二十三、二十四、	一、三十六、三十六、	四、四十六、四十八、	三、十三、十二、
四月節 立夏 七月節 立秋	五時十三分十二秒	六時四十六分四十八秒	四、三十三、三十六、	七、二十六、二十四、	七、二、二十四、	八、五十七、三十六、	九、三十一、十二、	十、二十八、四十八、	同	同	二、二十八、四十八、	一、三十一、十二、	四、五十七、三十六、	三、二、二十四、
四月中 小滿 六月中 大暑	五時○分三十六秒	六時五十九分二十四秒	四、十九、十二、	七、四十、四十八、	六、五十二、四十八、	九、七、十二、	九、二十六、二十四、	十、三十三、三十六、	同	同	二、三十三、三十六、	一、二十六、二十四、	五、七、十二、	二、五十二、四十八、
五月節 芒種 六月節 小暑	四時五十一分三十六秒	七時八分二十四秒	四、十、十二、	七、四十九、四十八、	六、四十六、四十八、	九、十三、十二、	九、二十三、二十四、	十、三十六、三十六、	同	同	二、三十六、三十六、	一、二十三、二十四、	五、十三、十二、	二、四十六、四十八、
五月中 夏至	四時四十九分四十八秒	七時十分十二秒	四、六、三十六、	七、五十三、二十四、	六、四十四、二十四、	九、十五、三十六、	九、二十二、十二、	十、三十七、四十八、	同	同	二、三十七、四十八、	一、二十二、十二、	五、十五、三十六、	二、四十四、二十四、

自然堂藏版

浪の花　一名[illegible]花

[illegible]

浪の華

伊豆國加茂郡熱海
指物 挽物 樟細工製造所
遠州屋青木庄右衛門

熱[illegible]製
[illegible]漬

大阪
天満天神筋丁
萬[illegible]漬商
川崎屋治[illegible]

ゑんまいおしろい　定價　箱入　五　小包　二[illegible]

従来世に行はるゝ白粉ハ[illegible]を加ふるゆゑに鉛毒汞毒の害尠からず[illegible]此製法ハ雑卵殻を以て製せしものなれバ常に[illegible]の色を損せず ニキビ アセモを治し第一キメ[illegible]
出はたし妙なり右ハ明治十年七月[illegible]
其効能果して験あるを以て四方の愛顧[illegible]
こうむりしより今次更に精製して以て之を[illegible]

製造所　東京金杉村百四十五番地　飯島[氏]

賣弘所　仝　新旅籠町六番地　川合元七

取次所

神田鍋町　福田仙造　人形町通り長谷川町　具足屋嘉三郎

よし町　平野友之助　本石町一丁目三番地　田原忠兵衛

浅草蔵前須賀町十六番地　田屋芳次郎　芝口端仲町　[illegible]

芝神明前　柳屋治兵衛　浅草三好町三番地　柳嘉右衛門

東両国元町　与兵衛すし　両国薬研堀町　[illegible]

表神保町六番地　高尾氏　下谷広小路町二丁目十五番地　高山林之助

御用

[illegible]

御菓子紙袋

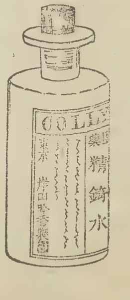
[illegible]

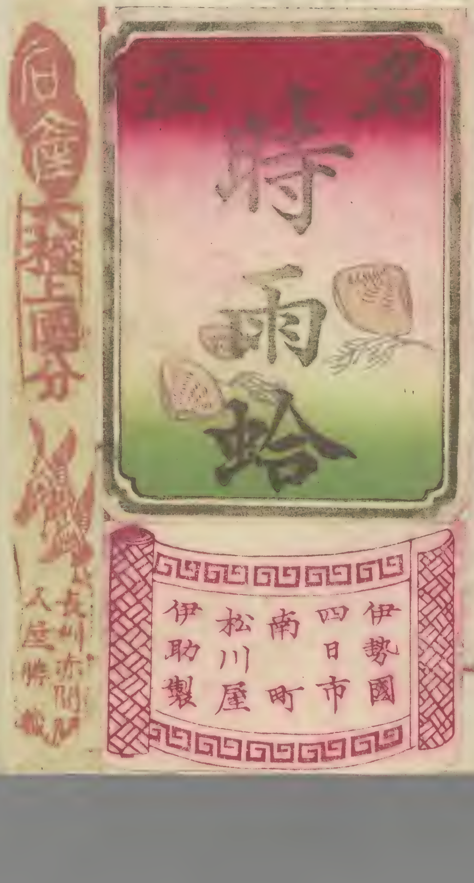
宮川長次郎

精錡水

精錡水ハ米國の大醫平文先生より直傳の名方にして日本國中唯我が一家の外ハ決して二と有まじき妙藥なれバ専ら世上の眼病を救んが爲に發賣する所なり然るに近頃追々我が精錡水と同名または似寄の藥水を製造發賣する者あり其藥方の同じきや否やを知らず功能もまた如何を知らざるなり庶幾くハ眷顧の君子よく〳〵その姓名と見認の上にて求め下さるべし（東京銀座二町目一番地岸田吟香）の記號ある物に非れバ決して本家の精錡水にあらず只その形の似たると名の同じきを以て誤って外品を求め玉ふと勿れと謹んで申す

日本精錡水本家　岸田吟香誌





本郷三町目
塩田理平

官許

懐中用意薬

臘梅紙

和歌山縣下
屋形町壹丁目
永田氏製

雪中花

一名 ゆきわりうめ

魁するよふ花の兄ハ年の始に先ふ開き
雪間に匂ふ香りしきハ外にたぐひの
なき程ぞかし。依て来ふ春ぐる吉祥と
仮用ひ升る名にあふ他に勝れ製法ハ
金いれものハ水で食 雪中花をいるれバ
葛水に梅ぐる麺考を湯に食せべ。汁粉に
似たる味ひの間ぞ申しき和梅わり。ろ美蔵
とめて当梅の実のよふ経ハ求めらる。
御引立を伏してく寞ふ

製所
東京東両國元町
三橋堂

此湖たしらハ茶貨民常てしらう
焚砂糖を以つて製し佐ハ甘くして
甘らし格別の風味ありて若湿めり
たる時ハ火氣を臨くへうるら

御茶菓子
名産 湖柱 昆布製

發賣 西京寺町三条上ル天性寺前 自然堂西座
本舖 大坂川口木田三番妙見前 碧宮園西座

高名人物 勅奏官及び諸先生書画類
神社佛閣 諸定價附書類
各國名所 其他種々品
寫真仕入所
京都寺町通御池北
猿春堂店

明治十年内國勧業博覧會
鳳紋賞牌 賜
玩物雛人形問屋兼製造所
人形司
東京東両國元町拾貳番地角
岩瀬桂山

[illegible]

伏而奉希上候也

國旗品々

國府

官許金海鼠製品之種
養生黄鶏味噌
紀州名物 兒西瓜からし漬
皇國第一龍眼肉製 鯛味噌
皇國一銘 鯛田麩
茶國無雙 其の菓鮑
あめ鴨つくだに
牡蠣清そすだ煮
其外上等品々ニ有之
東京尾張町貳丁目拾二番地
紀伊國屋 鈴木吉兵衛製

官許 伏禀
金海鼠味噌 三十錢より六百目ニ付三十錢まで
但し折入御注文次第
金海鼠糖 一棹ニ付八錢
金海鼠煉 二棹ヶ折入御注文次第

右三種ハ拙家の發明よりして先般内國勸業博覽會に於て賞牌を賜りたる有効無比美味の食物にして茲ニ贅せずと雖も抑も金鼠海の性質たる其能く元氣を主補し臟腑を滋益し虛弱を補養する日進開化の今日に無んば非ざるの品なり希ふ試嘗ありて益〻高評を賜らば幸甚

新製 小倉羊羮 一棹 金一朱

皇國第一 龍眼肉製 鯛味噌 曲物廿四錢ヶ 四錢五厘迄 折詰廿七錢

此鯛味噌は他家と製調と異にし眞ニ龍眼肉を調和製煉せし物なれば其氣力を益し腎を補ひ肌膚を滋潤せしむる美味滋養の佳食物なり

皇國一銘 五味 鯛田麩 三十五錢より七錢まで

此田麩は其味の美なる而已ならず三伏の暑中と雖も風味の變敗するなく即席調理の口取物及び吸物等ニ換用して尤も佳妙なり且瀛舺乘組の諸君は携帶して便利僅少ならざるの好食物なり

東京尾張町二丁目
金花堂 鈴木吉兵衛製

取次賣弘所
下谷町壹丁目四番地 流山 金澤屋吉右衛門
深川常磐町一丁目 漬物屋 吉田屋伊兵衛
淺草駒形町壹丁目 伊勢屋喜右衛門
同 馬道町五丁目三番地 玉木屋
本郷三丁目伊豆倉横町 下総屋彌兵衛
濵花町十二番地 越後屋藤右衛門
横濱眞砂町壹丁目四番地 三川屋玉吉
同 野毛町壹丁目 森田伊之助
同 馬車道相生町四丁目 松屋與左衛門
同 太田町五丁目九十番地 桝屋孫重
勢州津地頭領町三十六番地 長谷部長右衛門

繪入新聞両文社印行

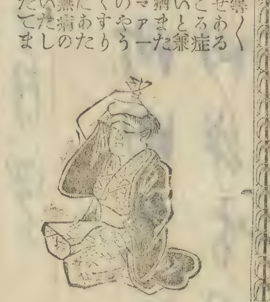
氷嚢

「ナルホド是ハ天窓がひへて頭痛あざいハ上等〳〵
是だらぼづ○腰病○虫歯○口れつ○のだせある
ひい暑季ふおかさ目ほひたちくらミのおこる症
○酒の二日酔そべて熱氣をさまずふ至極よいと兼
て御試みのゝさがまんどのおほめふついて獅また
今般製造りさ一層精撰れたゝ販賣仕りますゝア一
ト袋なてゝためして御らうじませ第一勝胱のやう
ふ臭氣の愁ひがござりませぬ又おつき湯かくすり
の湯をいれをて御用ひあされば身うちも自由にあた
ゝめますそよて夏ふゆにかゝはらずたとへ無病の
君がたでもお手元ま一ッ貯なると一寸重寶いたし
ます多少ふ限らす御購求下されン度伏て希望たてま
つりほす

東京盛業舍

發起製造元 饗庭幾久治

製造元兼窮理 酒井亀次郎



新發明 頸滌紙 氷嚢

大形 一ッ價拾錢

小形 一ッ價九錢

此嚢ハ氷或ハ冷水を入て天窓其他身うちを冷やかにするに用ひ又ハ煖き湯其外薬湯等を入て温むるに用ゆ

右ハ御用ひの際一旦水ニ浸し候へハ直に柔らぎ候故氷或ハ冷水を入細き糸にて能口を締め熱氣の箇所へお抵あさるべし○御用ひ跡水を切り［図］棒ふてゟ竹にても此ごとく通ふして日ま干〔雨天ナレバろげ干 亦火に干テモよし〕乾くまたび自然強ばり候とも其まゝそつと仕まひ置亦々御用ひの時々前のごとくして手おきなされバ何度御用ひふ相成候とも決て破損の愁ひござあく若御用ひあさらぬ内ふ損じ有之候ハヾ御引換申上候

明治十一年第七月更

東京通鹽町貳番地 販賣元 辻市太郎

大坂土佐堀一丁目十三番地 大坂販賣元 平瀬保兵衛

東京本町三丁目十四番地 家号れわしや 岩本五兵衛

同銀座三丁目二番地 回生堂

同伊勢町三番地 大鐘立岱

同本町二丁目四番地 内藤久八

同尾張町二丁目九番地 本多周之助

同本所松井町三丁目八番地 両館屋大藏

同小石川諏訪町六番地 久納富右衛門

同淺草新平右衛門町壹番地 小西清兵衛

同佐川町十九番地 桐谷權三郎

横濱辨天通一丁目 平尾豐之助

同四丁目七十一番地 塚本錬三郎

開拓使箱館内澗町 松葉八左衛門

同所同町 森屋熊四郎

長野縣信州長野大門町 今井市右衛門

長崎縣長崎東濱町 山城屋仲之助

礪嶋縣岩代福嶋通十一丁目 村山國三

高知縣土佐國第八大區一 立身屋卯兵衛

小區種崎町二百十一番地 櫻木嘉右衛門

相州横須賀元町二丁目 築山庄輔

愛知縣尾州名古屋𥶡入町 清水太左衛門

納屋橋頭 南店

備後鞆津 中村製釀 銘酒定價附

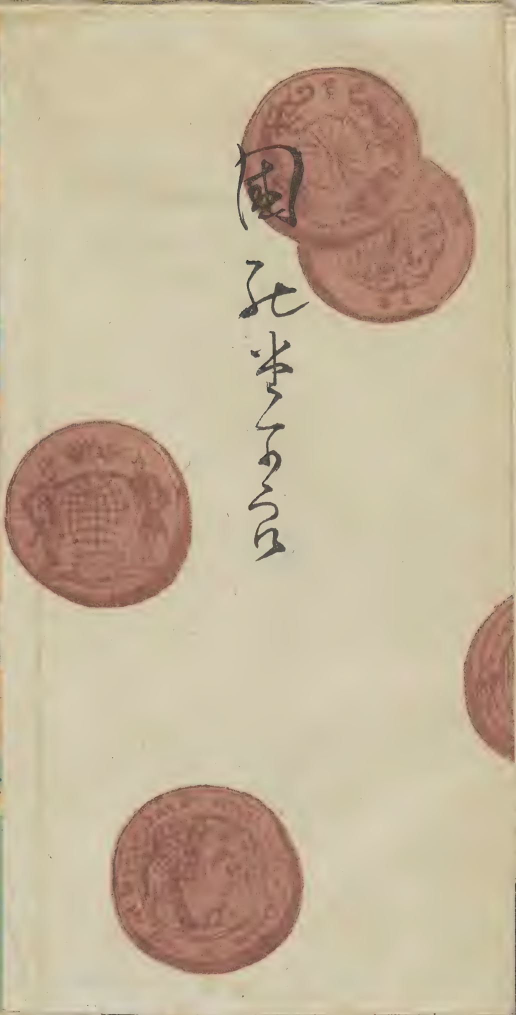
	並陶壹升入	五合入	二合半入	壹合半入	壹合弐勺入
梅酒	金六十壹戔八厘	三十壹戔七リ	十七戔	十壹戔二リ	九戔八リ
菊酒	五十九戔五リ	三十戔五リ	十六戔六リ	十戔九リ	九戔四リ五毛
保命酒	五十八戔五リ	二十〔貳升〕一戔	十六戔四リ	十戔七リ	九戔三リ
養氣酒	五十六戔八リ	二十八戔五リ	十五戔八リ	十戔四リ	九戔壹リ
本直酒	〔五月〕五十壹戔五リ	二十六戔	十四戔五リ	九戔六リ	八戔四リ五毛
別製酎酒	六十壹戔	三十壹戔	十七戔	十壹戔	七戔六リ五毛

右定價之外ニ御進物向数々種々遠利様ニ御座候 [illegible]

東京府下第四大區七小區 本郷四丁目壹番地 小林喜右衛門

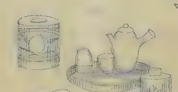
愛知縣名古屋 七寳會社
横濱本町 販賣所 鶴屋亀吉
東京新石衛門町 同 濤川惣助

103 百三番 従 迄



功能

桃ハ菓中の佳品にして仙家の珍味とする所なり味ひ甘美にして清涼の功あり故に能く腸胃を調へ通利を促し膽汁の過泄を停む殊に中暑の症によろしく又船中の眩暈に妙なり爰に武藏國埼玉郡大房、大林、増林等の數村より出る桃子ハ殊に肥大にして味ひ最も美なるを近ごろ西洋の法に依て是を糖製と成し長く鑵内に貯へ以て不時の需に供し殊に船中に携へ或ハ遠地に送るに便なり凡ぞ人の諸病の中にても大便秘結より起る者ハ頭痛、めまひ、耳なり、胸はなへ、腹はり等にて何れも下劑を用ゐるを一般の療法となせども屢々瀉藥を用ゐれバ慣習と成りて功を奏せず或ハ腹痛を起すあり若し是等の症あらバ人々ハ常に食後に於て此糖製の桃子を喫し或ハ茶菓子にも是を用ゐれバ藥劑によらずして能き程の微利を催し腹中自から調ひ人をして健康ならしむべし宜なる哉昔人の是を以て延齢長壽の靈藥と稱せしこと



明治十年八月

埼玉縣武藏國埼玉郡増林村 放牛舎敬白

埼玉縣醫學校長 坪井爲春閲

賣捌所

埼玉縣下武藏國足立郡浦和宿	上州屋治助
同 國大里郡熊谷宿	清水藤右衛門
東京府下神田小柳町	伊勢屋傳次郎
同 銀座二丁目	岸田吟香
同 小傳馬町三丁目	鍋屋甚八
同 本所元町	上總屋嘉右衛門
北海道後志國小樽郡小樽湊塩見臺	佐久間半藏
神奈川縣下横濱本町四丁目	森屋善三郎

毛東民造

右様並
御機嫌能く居
先々御贔屓を
奉希 陰ニ私作
舊来姥きぬき
横町ニ新テ鶏卵
浮世いろし 業り
所は云 御隠居
方のけせうめ 様
同地ニ続き池のすゑ 図
通へ引き移り 同
住ニ後世仕尚一層勉強 業ニ
西東出精て仕り 升
相成りべく候御ひゐき奉希
右御披露

一 地回す
一 新鶏卵 折ろうし 小売り
一 玉子せんべい
糸ニ 切ますてハらう 額

右の進物 折づめ 縦めり
新工夫 雑づめも 何事
美麗を清潔且廉直ニ差上
申し候 何事ぶ作合は [illegible]
御贔屓ノ程偏ニ奉願候也 評

明治十一年戊寅七月吉辰

東京池の端 伊勢や
今井吉[illegible]

滊船毎月出港定日
従廣島諸港運賃表

尾ノ道　上等　八十戔　中等　六十戔　下等　五十戔

鞆津　上等　壱円十戔　中等　九十戔　下等　七十五戔

多度津
丸亀　上等　壱円五十戔　中等　壱円廿五戔　下等　壱円

岡山　上等　壱円七十五戔　中等　壱円廿五戔　下等　壱円

神戸
大阪　上等　貳円五十戔　中等　貳円　下等　壱円七十五戔

右日限天候之外無相違
出港仕候間諸君子御乗船
奉希上候

一六日　廣嶋丸　　二ノ日　開進丸

三ノ日　且勢丸　　四ノ日　玫凌丸

五ノ日　太勢丸　　七ノ日　平運丸

八ノ日　狭貫丸　　十ノ日　無事丸

九ノ日　明凌丸

外ニ和船大阪一六出帆仕候

滊船
和船
問屋

廣島西本川入口

岩田三兵衛

書留郵便物請取證

書状 新聞紙 書籍類 見本類

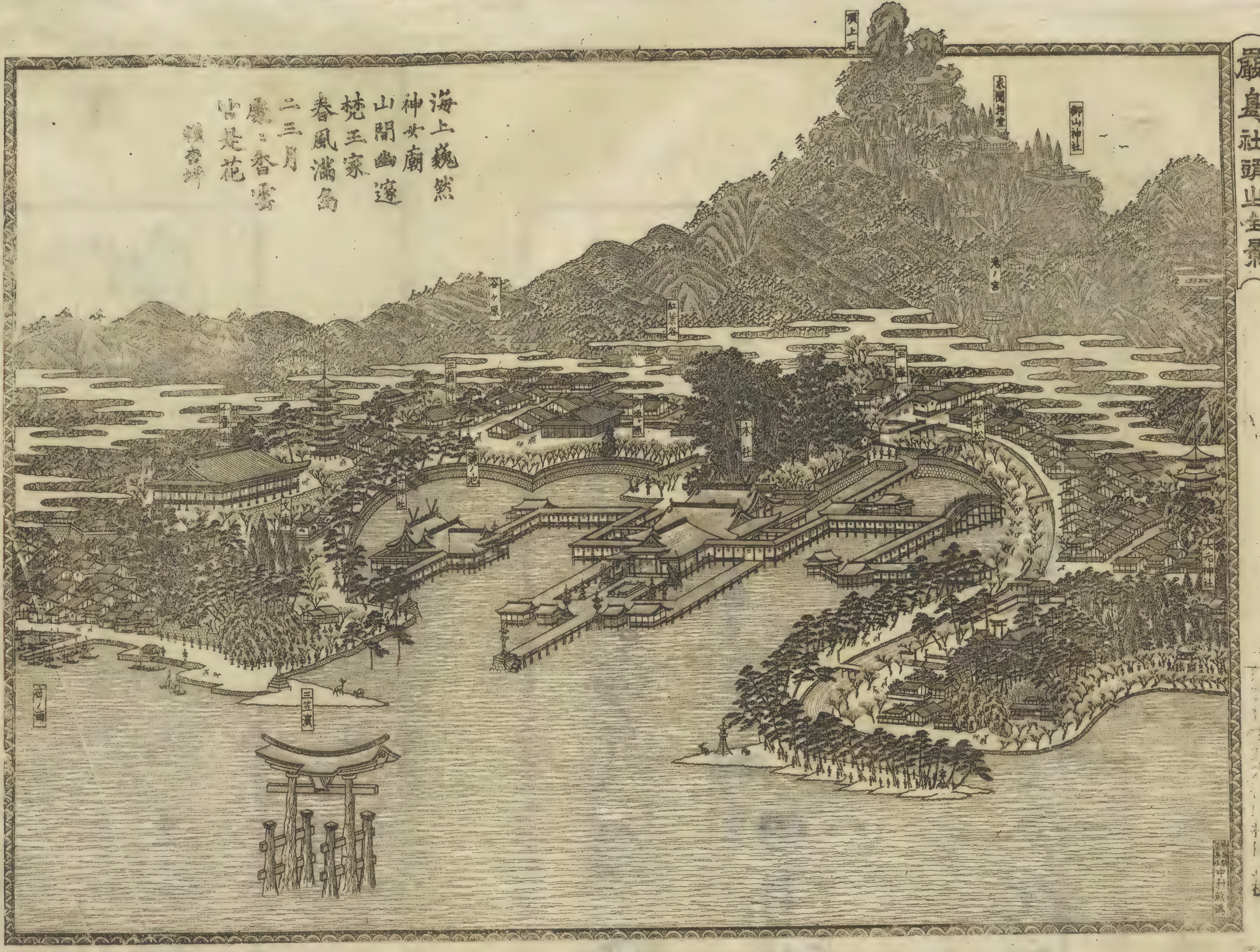
第二百七十九号

壹通

請取人 大阪…

差出人 東京…

明治…年八月十日



嚴島社頭山全景

本家

正札付現金 大安賣

藤屋…

御目印

向榮社

乘客諸物貨取扱所

蒸氣艦 日本郵船

本問屋

備後尾ノ道 築出シ町 道側

㊣ 向榮社

三重博覧會出品札

第　區	第百九號 二
羽二重苔	三十目
産地製造人	シマ國アゴ郡船越村 寺田三蔵
出品主	同國同郡同村 七十九番地 山下新吉

賣價金 貳錢

三重博覧會出品札

第　區	第六百九號 二
布苔	五十目
産地製造人	志ア國アゴ郡御座 [illegible] 仙蔵
出品主	國　郡　同人

賣價金 貳錢五厘

三重博覧會出品札

第　區	第三號
島藻	百目
産地製造人	同國同郡 山中竹次郎
出品主	伊勢國多氣郡 [illegible] 十二番地 中井新十郎

賣價金 四錢五厘

三重博覧會出品札

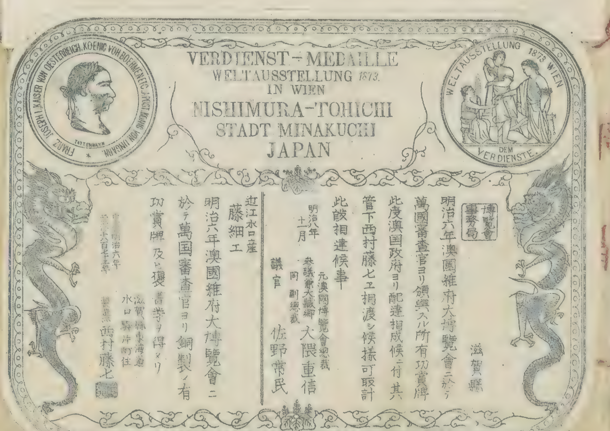
第　區	第百四八號之内
八ッ	貳拾目
産地製造人	國　郡
出品主	國度會郡神前浦 濱地摸兵衛

賣價金 壹錢壹厘

志摩國答志郡答志村産
丹波海苔
[illegible] 池田三九郎

[illegible] 培社里

本家 翁昆布
大阪



贈券

1 SEN 印紙 一錢 1 SEN

定便十六[illegible]

第四百四十八號

物貨箇數	貫目	合計	差出方	請取人
蓮包[illegible]	三[illegible]		岩崎吉之助	[illegible] 田中[illegible]

護送人	爲替金	賃錢	合計
		[illegible]	

右遞送候條共着御査入可被成候也

明治十一年十二月九日 午前 午後 時發

中馬會社

甲府原社

一 新[illegible]

[illegible]

京都博覽會場賣品證

本郷[illegible]

御[illegible]

御菓子

別品 田古酒

花嫁

池田釀

古

朱印燒印附

関羽

西

京

御菓子司

姉小路通車屋町角

亀末廣

新

古

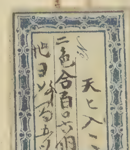
一件

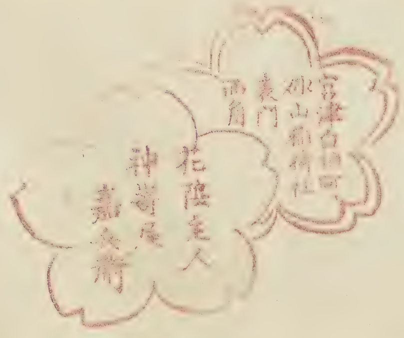
北海道札幌製
冷製麥酒　又日耳曼麥酒とも云

此麥酒ハ從來本邦にて尋常の飲料に供する輸入麥酒等とハ其釀造全く異るものにて尋常の品ハ多くハ火酒の力を藉りて發酵せしものなれバ沸騰の力激烈なるのみならず其成分異れバ其實或ハ健康に益あらざるを以て下等の飲料となすに至れり此冷製麥酒ハ沸騰の力尋常のものに比すれバ稍ゝ薄しと雖ども此等の害なく殊に風味爽快にして健胃の功あり苦味も亦甚しからざれバ麥酒中最も上等品と稱す就中夏日飲料となして最妙なり

此冷製麥酒ハ常に氷室内に貯藏し温暖の氣に觸れしめざる程なれバ暫時にして變質するものにあらずと雖常に一二壜を貯ふるも氷箱中或ハ冷所に置き或ハ冷水へ壜の儘浸し置之を用ゆるに當て氷塊を浮へて之を喫すれバ其味極めて爽快にして更に美なり故に尋常販賣するものに於ても此等に注意し貯藏すべし

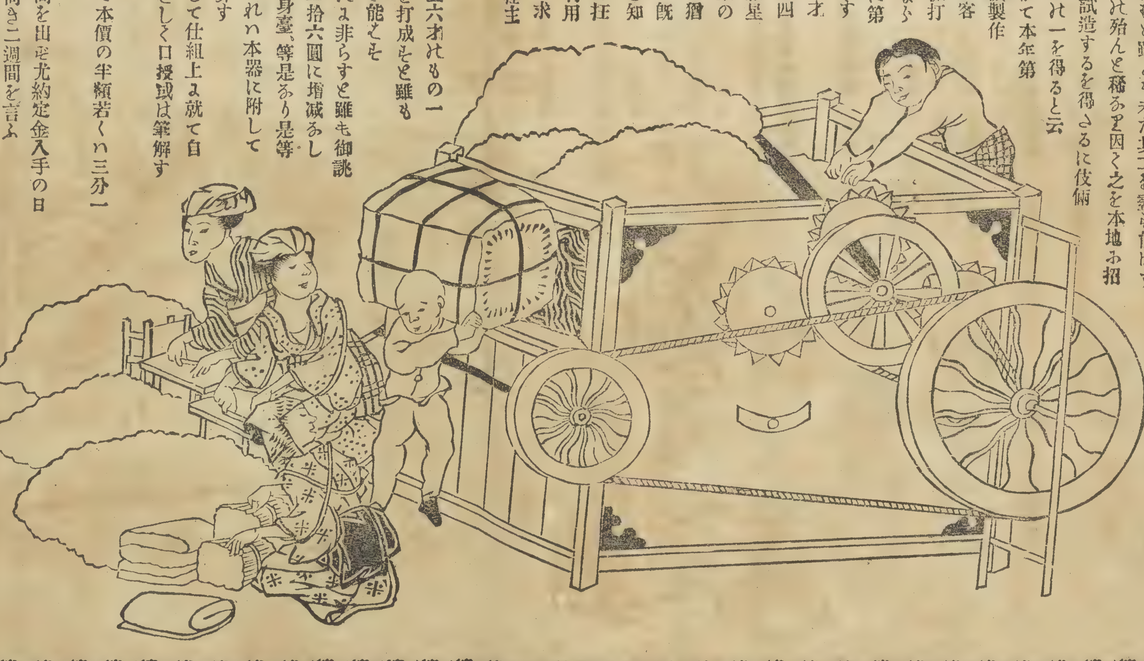
明治十一年　月





新發明綿打機械ヲ以テ商業開店ノ廣告

我邦物産の類種其數幾千萬なるを知すと雖人間需用れ最要なる米綿より先なるはなし而して米の精けて食物に供し綿れ製して衣服ふ充つる本邦未さ其器械の妙工を極たるを見そ常以く慨歎せ里玆に本歳春二月豐後の匠人丸龜に來遊そるよ其人能く綿打機械を搆作そるの聲聞あり卽ち本地の老匠竹内喜平をしく往く之を撿せしむるに既よ其妙を極むと雖とも未た其工を盡そ能はす故に其人も亦半信半疑未之か製作を請ふもれ殆んと稀な里因く之を本地ふ招致し老匠喜平と相謀里勵精研究遂に一機を試造するを得さるに伎倆加倍妙工至盡素望始く此ふ適し亦内國勸業れ一を得ると云も誣言に非らさるへし悅はさるへけんや依て本年第四月を以て綿賃打篠卷座綿の仕立より該機製作賣捌の業をも併て開店せしに遠近愛顧の貴客陸續日に增月よ加へ是則他ゐし實驗上機械打綿の効用遙に弓打綿に優さるを以く然るなふん抑此機械の効用便益れ要目を擧証そるに第一機械運用極て容易にしく敢て勞力を要せす故に男女を問はそ年齡十二三才乃至十五六才のもの一人よ足りて能く一日綿四貫目乃至四貫五六百目を打又其打綿の如え精纖美細星なきも勿論埃入り抔は實に云も更なり積糸の際糸車に掛るに絲線續出更に斷絕の憂なく猶製糸製布れ上は染色能く其光澤を含有せり既に愛顧實驗の人は皆此說の過長ゐらさるを知る冀くは遠近有志れ諸彥一さひ駕を弊店ふ枉け現機械妙工効用の如何を熟視推觀し愈利用の左ゐふさるを確信し賜え、篠卷座綿の購求よ里賃打又は器械製造をも陸續五注文の程主人伏く希望致そ所ゐ五座候敬白



附たり辨

一本器え男女を問はそ年齡十二三才乃至十五六才れもの一人よて一日繰綿四貫目乃至四貫五六百目を打成そと雖も運轉の巧拙慣習の厚薄に因里自ふ增減なき能えそ

一本器搆作に當りてハ大小及上下品なきもれよ非らすと雖も御誂人の所望外ハ一定の搆作にて代價え則金三拾六圓に增減ゐし

一本器れ外附屬品は埃除臺、同鞭、寄卷臺、同身臺、等是ゐり是等の搆作は別に思考れ用ゆへきものに非ふされハ本器に附して之を販賣せす尤御購求者の所望は此限よ非す

一本器運用え傳習せさるも極て甚た容易にして仕組上よ就て自ら判明せ里尤も御購求人の疑問あらハ時としく口授或は筆解する事もあるへし

一本器搆作御購求のもれえ豫め約定金として本價の半額若くハ三分一を申請へし

一本器一具に付搆作請負日數え遲くも二週間を出そ尤約定金入手の日より之を言ふに非らそ外誂整頓の日より向き二週間を言ふ

一本器え大概木製にして機關れ要れみ鐵或ハ洋銅等にて之を搆へ里本器大さ疊壹枚に餘席ゐし高さ三尺徑里五尺幅三尺目方四人力を以て運搬に適す

一本器運用塲ハ一具に付四疊間を廣しとせさるも二器以上を置ゐハ該置塲れみを廣めて充分なるへし則寄卷及埃除塲等ハ合併せるを以ての故ゐり

明治十一年八月

愛媛縣讚岐國多度郡多度津門前町
本舍　榮美壽舍

島根縣因幡國鳥取新道吉方村
第一支舍　榮美壽舍

岐阜縣美濃國大垣馬塲丁
第二支舍　榮美壽舍

印刷　高松濱の丁活版所

京都日日新聞第九十九號附録

○本願寺大教校（[illegible]）

本校の地は百間四方にして中央に巾、十間奥行十二間の講堂あり（階上と二間とし階下と六間とも）左右に并間つゝの生徒寮あり講堂の後に巾十四間奥行六間の食堂あり

五月三日慶讃會四日正遷佛五日教興會なり抑此度の開校式は日本開闢以來三度目の會式にして天台法華法講式と稱す今と距る八百年前にきと叡山にて執行れさり故に此度も同山より僧侶若干を乞ふて之を式と傳習され今度本山にて執行せらるゝはこれを無量壽會法講式と稱ふ讀經は咸く節文にて講師は大教專念寺讀主は當地の海忍なり而して講師に疑問を質す證義者と云へるを置くなり（大教正）

三日初日は本願寺唐門より大講堂まで音樂を奏し練り込み四日は正遷佛の式五日は講堂前に於て舞樂あり

四日は當府及び大坂府兵庫縣滋賀各縣の長次官大坂鎮臺滋賀陣營伏水陣營并びに諸本山教正方を請待せられ

右に付三日の間群參の衆人へ祝餅を與へらる

尚當日の景況は後日報道すべし

寺町通高辻上ル町　京都日日新聞社

夫紀志功勲照耀典章吟咏風月暢達性情最適用者莫過于硯故自臺閣玉堂之用以至巖穴隠逸之遊爲須臾不可離之物或呼作友或拜爲兄至東坡先生謂橫直千金硯之用亦大矣哉我美作國眞島郡山水清絶高田山出硯材密理堅緻資質純粹有銀絲有金線一両呵之津汗滴源廣且閑靄煤之香滿長見光潤之緊直與端溪歙嶺之石相伯仲其濡治之晴愛其材貢獻之外不許刊鑿

王政一新舊禁始開莫飾請　官得許可

選良工崇硯譜研史仿歷代帝王進御之物至名公鉅卿所愛玩之玉硯古瓦一一摸造今年內國博覽會出大硯數枚天下具眼者自有公論爲四方好古君子勿謂安能久事勿證敝欲自焚紫譜史賜郵寄即選石質精雕刻願其價直於于陸運舍所在奉送爲冀賜眷顧

明治十年十二月

岡山縣美作國眞島郡高田中町

名硯製造所　大塚勝次郎謹識

三重縣下物産

伊勢國四日市

萬古焼

竈元 河村又助

[illegible]

御多葉粉入

[illegible]

青洲濱

西京ステーシヨレマヘ

烏丸通七條西南角

御淵濱焼

藤林永盛堂製

JAPANESE BITTER

近來泰西諸國ニテ專ラ行ルヽ有功無害ノ良剤ニシテ予コレヲ傳授スル所ナリ

樂善堂岸田吟香謹白

健胃補益ビツトル

平常服用スレバ身体強壮ニシテ非常ノ悪氣流行病等ノ患ヲ除クノ効アリ

本家 東京麻布網代町 松田藤吉謹製

京都博覧會場賣品證

蚤除香水

BEST PERFUMING WATER

ANTI-FLEA

新發明越川良仙製

一蚤虱蠅蚊虻蜂蛭百足毒蛇反鼻其他一切ノ虫類ヲ避除ス

一冷肩或臨臥ニ一二滴ヅヽ掌中ニテ揃ミ全身ヘ摺付ルナリ口眼其外何レノ場所ヘ付テモ苦シカラズ

一毒虫ノ刺タル所ヘ付テヨシ

一牛馬雞犬ノ虫ニ付テヨシ

一盆栽草木菓物畑物ノ虫ニハ水ニ和シフリカケテヨシ

發賣本舗 大日本東京第一大區一小區 鳥越町二番地 越川良 定價五錢

明治十一年六月十六

贈右大臣大久保利通五十日祭

執行候ニ付粗菓進上候

従五位大久保利和

温知會申告

一例月第二の日曜日を以て晴雨を問ハす淺草公園地の森田六三郎か家に會する時限ハ午前十時に始り午後四時に散す

一此會ハ固より舊時有りて今或ハ絶へたる花木を探討して遺失せしめす或ハ今後深山幽谷より採り及ひ好事の家に生る珍花奇葩の類を集めて他日の考に備へん事を謀るよ出ると雖も新舶齎來の洋漢花木藥艸旁ら動礦二物に及ふも更に碍なし

一會者ハ折枝乾葉何品なり共衆覧に供し及ひ自家の其物名を知らんと要するの類を隨意に出品する事を欲す

一其各自の出品ハ机上に列し各員鑑定し投票を以て名を指す

一出品目錄ハ毎會刊行し奇品ハ圖を付し後會に頒呈す

一午飯及ひ茶費一員金十錢を要す

但出品無之莅席の員ハ二十錢を要す

一此申告を履ミ悳來の員ハ敬て之を迎ふ

但帶醉ハ之を謝す

一六三郎の家に碍る事ある歟或ハ衆員の都合に寄りてハ巣鴨内山長太郎歟内山卯之吉歟又ハ兩國横綱の鈴木孫八の家に於てする事ある可し其時ハ豫め報知新聞を以て之を告く

一此申告に便ならすと爲る事あれハ議して之を改む可し

明治十一年十月

温知社幹事

SOCIÉTÉ D'ACCLIMATATION

19, rue de Lille, Paris

M Tanaka-Yosiwo

botaniste

Caï-seï-dzjo

à Yeddo (Japon)

龍眼肉入

鯛みそ

岡﨑驛

沫雪樓

御膳御用所

𠮷川先保製

極上

庭羅

ちらし　半しきし　うちわゑ
懐物　折本　香けみ
美濃紙　手漉紙　折色紙
書翰筒　まき紙　たとう紙
御祈文庫　張札　文写
張抜文庫　革文庫類
右代物吟味仕精く下直ニ調進仕候
且御多少ニ不限御用向被仰
付被下度奉希上候也
京都寺町通御池上ル勧業場前
正春堂　山本彦兵衛

京都舎密局醸麦酒
ビール
BEER.
CEREVISIA.
KIOTO
CHEMICAL-LABORATORY.

銚子名産
千代川久助

ごろくや
吉川製

麦酒

糟

官許
BEEF EXTRACT.
牛肉精液
長崎麹屋町
林製

用方

滋養温和ノ食品ニシテ主用「ソップ」ニナス製スルニハ此ノ中ニ「エキス」チ沸湯ニ攪拌シ其量ハ適宜ニ任ス此ノ外食味ニ調加スルトキハ食味ヒ頻ルヘ佳ニシテ他ニ比スノ人キナシ別ニ衰弱ノハ常ニ缺ク可カラサ補益ノ最モ第一ト云フ可也

愛知縣下
名古屋區
魚之棚
河文製

内国勧業博覧会賞牌

磨研紙

報條

今般舶来同様の製方を発明し用法の大概を左に掲ぐ 甲印 乙印 の両種ハ鉄鋼銅鍮其他の金具或ハ蒸汽器械等を磨くに用ふ但し其磨くべき品に油を塗りて磨くべし又轆轤の細工にて熱を起すべき品類にハ此紙を適宜に小切て糊を以て揉革へ貼付て用ふ 木印 を記せるハ象牙角類檀木等の堅質なる物又ハ逆目立て鉋を用ひ難き木にハ 六番 五番 の印ある紙肌の粗きものより番号に随て精細の紙を以て磨研る時ハ自在に細工を施し得べし尤此分にハ油を塗るに及ばず。靴職に用ふるにハ始め外皮を刃物にて削り去りて後に此紙の番号に順じ牙角の如く研り磨く時ハ逆理の立つ事無く奇麗にして且つ成功速かなり其他前記に類する諸の工作上に於て必ず功用あるべし冀くハ各方の君子試ミ用ひて多寡を不厭して徴求あらん事を

(虎)

下京第十三区高辻通寺町西入

村上虎次郎製造

磨研紙

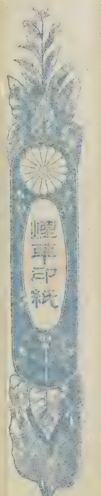
報條

今般舶来同様の製方を発明し用法の大概を左に掲ぐ 甲印 乙印 の両種ハ鉄鋼銅鍮其他の金具或ハ蒸汽器械等を磨くに用ふ但し其磨くべき品に油を塗りて磨くべし又轆轤の細工にて熱を起すべき品類にハ此紙を適宜に切て糊を以て揉革へ貼付て用ふ 木印 を記せるハ象牙角類檀木等の堅質なる物又ハ逆目立て鉋を用ひ難き木にハ 六番 五番 の印ある紙肌の粗きものより番号に随て精細の紙を以て磨研する時ハ自在に細工を施し得べし尤此分にハ油を塗るに及ハず。靴職に用ふるにハ始め外皮を刃物にて削り去りて後に此紙の番号に順じ牙角の如く研り磨く時ハ逆理の立つ事無く奇麗にして且つ成功速かなり其他前記に類する諸の工作上に於て必ず功用あるべし冀くハ各方の君子試ミ用ひて多寡を不厭して徴求あらん事を

(虎)

下京第十三区高辻通寺町西入町

村上虎次郎製造



煎草 大

[illegible]

きざミ水六合へ一合五勺[illegible]

[illegible]

定價表

甲印	金貳戔五厘	番外 金貳戔二厘
乙印	同貳戔弐厘	同 同壹戔九厘
木印	同壹戔五厘	同 同壹戔二厘

但し 千枚以上貳割引 百枚以上壹割引

寸法 長 八寸 巾 [illegible]

番外 金巾[illegible]

日本

有用動物見本

博物館

博物館印

紀元二千五百三十八年
明治十一年三月

USEFUL PRODUCTS OF THE ANIMAL KINGDOM.

COLLECTED BY

MUSEUM, TOKIO, JAPAN.

蒸氣船御乗込之
御上陸并ニ御荷物
廻送御便利ニ精々
丁寧ニ取扱仕候間
不相替御引立ヲ以
御用向之節御申付被成
下候様偏ニ奉希望
奉存上

横濱辨天通リ貳丁目
西村新七

三菱滊船
乗客荷物取扱所
御定宿

神戸港榮町三丁目
西村梅

大

京都博覧會場賣品證

火止石炭油製造發賣廣告

石炭油ハ頗る便利の品なれども性質猛烈にして追々火災の難を生ずる事あり然るに火止の製法を西洋にて發明せり依て拙者米國の窮理學士某氏より直傳を受既に廿有餘月の間實驗を經て本月善良の品を研究し他に製造する火止石油とハ異なりたる良品也依てこれを行燈并油皿にて用ゆるとも決して火を發するの氣使なく且ランプに用ゆるとも少しも異なる事なくこれを神佛に供ずるとも聊懼るゝ事なし且又消耗甚少く至て德用便利の品なれば世人の知る處也依て今般私店に於て製造并に發賣仕候間御試の上多少に拘らず御用向被仰付被下度伏て奉願候也

但石油御所持の御方へハ藥價并に手數料を申受製造調進仕候尚各地に取次所相設け置候也

明治十二年四月

久留米通町壹丁目拾壹番地

精製 火止石炭油製造所 山本繁太郎

福岡觀文社久留米分局印行

官許 JAPANESE BITTER.

ビットル

定價 小瓶正味一弓入金八錢 中瓶正味二弓入金十五錢 大瓶正味三弓半入金廿五錢

本家 東京 松田藤吉謹製

廣告

岸田吟香述

此ビットルハ專ラ泰西諸國ニ行ル、所ノ良劑ニシテ予コレヲ經驗スルヿ既ニ久シク是ヲ求ル者モ亦少カラズ然レドモ予ガ家法ノ精錡水及ビ三藥ハ各府縣ヨリ注文ヲ受ルヿ日々ニ繁多ニシテ未ダ此良劑ヲ發賣スルニ遑アラズ空シク年月ヲ送リシガ幸ヒニ此タビ松田氏ノ乞ヒニ應ジテ此藥方ヲ傳授シ遍ク天下ニ賣弘ムルヿヲ得ルニ至レリ抑モ世ノ賣藥ヲ見ルニ金銀ヲ粧ヒ龍麝ヲ薰ラシテ以テ俗眼ヲ眩惑スルモノ十ノ八九ニシテ其實ハ功モ無ク亦害モ無キニ過ギザルノミ此ビットルノ如キハ固ヨリ然ラズ眞ニ有功無害ノ良藥ナレバ必ラズ以テ國家ヲ裨益スル所アラントス江湖ノ諸君幸ニ予ガ家法ノ製藥ト同シク服用シテ其效驗ヲ試ミ玉ヘト謹テ白ス

○

前文ニ述ラレタル如ク此ビットルハ實ニ救世ノ良藥ニ付キ此タビ大政府ノ許可ヲ得テ普ク之ヲ天下ニ領賣スルハ是敢テ一己ノ利潤ヲ謀ラントスルニ非ス聊カ以テ世人ノ幸福ヲ補フ所アランヿヲ冀フ而已

松田藤吉謹白

東京神田保全堂製造品略報

袋入　一錢
二錢
箱入　二錢五厘
五錢
挽物入　拾錢

○此の花王散は波多先生の發明により專ら西洋風に製造したる者にて從來世に有ふれたる和製齒磨の如く齒牙の實質を磨滅し齦を剝脫して齒根を弱するの類に非ず天下第一等の御齒磨なれば常に之を用ゆる時は齦炎しめ齒根をかため口熱を解し息臭を去り及ひ齒痛を治し或は將來口中一切の患を豫防する等に絕妙奇功ある事廣大にして實に古今無比の良品と云ふべきなり

新發明

○此つやの水は䵟　塞瘡　汗疹　腋臭　顏或は手足のあれ等に妙功ある良品なれば常に之を具へをたゞ顏や手や其他どこにても每朝一度づゝ之を附る時は皮膚のきめを細にし色つやをよくする事實に不思議の製劑なり

○此酒は健胃强壯藥にして飲食を進め氣力を增し精神を爽快にし睡眠を快し殊に酸胃を制し風氣を驅り胃痛を鎭靜するを以て胃弱不消化家或は稟賦虛弱の人等に缺べからざる良劑なり又夏日平常之を用る時は中暑霍亂虎列剌病等を豫防する偉功ありて實に闔世無類の銘酒なり

新鮮香橙舍利別	香油梅の香いろ〳〵	無花果ジヤム砂糖漬いちぢく
香水花の露いろ〳〵	清風酪牛乳ト綠茶紅茶等ヲ調和したる滋養の飲料なり	藥用石鹼くすりしやぼん しつしやぼん

東京神田通り鍜冶町三番地　保全堂本店精製

功能

○第一胃のはたらきを能し膽液の不足を補ない食物のこなれを能し身体を健かにして音聲を美し心氣を快爽とするの功能あり

○溜飲によし○氣のふさぐによし○胸のつかへによし○覺のわるきによし○疝氣せんしやく寸白によし○血の道によし○聲の枯たるによし○黄胆腹滿によし○物に飽きやすきによし

○身体柔弱にして魂氣うすき人または病後産後などの肥立かぬたる者か或は差したる病苦は無けれども飲食味なく手足力なく面色青く口唇白く眼目はつきりとせざる者又は婦人經行定まらず折々目まひ立ぐらみ抔をこゝ症には持藥として長く服用れば血液を善し氣力を增し元氣自から盛にして健全の身となり流行病等の患を除き無病長壽の域に躋ることを得べし

○西洋料理または肉食をする人は必らず食事の間に是を飲むべし此ビツトルは能く水中の虫害を除き水毒の患を防ぐ故に陸海の旅行には必らず是を携ふべし

○用ひ方は凡そ五夕ほどの水に此ビツトル十五滴より二十滴ほど注して飲むべし一日に二度か三度も用ゆるを妙とす

○暑中または酒後その外いつにても水を飲む時は凡ろ湯碗一盃の水に五六滴より十滴ばかりも注して飲むべし少し砂糖を入れて飲むもよし

○各府縣下とも取次所あまた御座候間御求め下さるべく候若取次賣弘め成されたき御方は假令遠國にても郵便にて私方か又は賣弘所其外各地大取次所まで御申越し下され候はゞ請賣願書並に約定書免許公文の寫取次賣弘及び割引規則書等速かに御送り申上べく候且ビツトルも御望次第御送り届け申上べく候

東京麻布網代町四十七番地
アルコール製造所
松田藤吉再拜

ビツトル本舗
大元賣弘所
精錡水本舗　東京銀座　岸田吟香
寶丹本舗　東京池ノ端　守田治兵衛
明治水元販賣所　東京本町　圓城半右衛門
寶丹水發賣本舗　東京村松町　岩浪長藏

猛烈にし
火止の
國の窮理
間實驗
過する火
れを行燈
る此氣使
なる事な
まし且又
世人此知
賣仕候
被下度
數料を
設け置
郎
留米分局印行

浅艸名製 新發明味附海苔本舗報書

夫淺艸海苔之義ハ世ニ專ラ流行ル丶香味ト雖モ暑氣ニ向ヒナハ自然ト温氣ヲ生ジ香味ヲ去ル事諸君熟知スル處ナリ然ル處弊舗其風味ノ變ラザル製法ヲ熟練致シ今文明ノ世ニ至リ皇國佳品ト成事發明致シ味附海苔ト稱シタルハラン引ヲ以テ精製シ其味合辛味ヲ加ヘ格別ノ香味ヲ合マセ唯美味計リニ非ズ暑寒ノ温氣ヲ拂フ事我名製ニシテ此味合他ニ有ラズ其大ヰ成ガ故ニ江湖ニ廣ク御賞美得タルモ如斯味合ノ暑寒ニ變ラザル故ニ諸君御旅行船路ノ御貯御進物等ニハ極上品ニテ或ハ酒席茶席ノ御賞美ニ預リ日増ニ弊舗幸得ノ至リナレハ猶又一層勉强ヲ以テ物品ヲ和改メ精製仕依之從來ノ焙海苔トハ事變リ醬油ヲ用ヒズ即用便利ノ佳品ナリ愛顧ノ諸君陸續御購求アラン事ヲ希フ

右品ブリキ筒詰同箱詰代價金拾貳錢五厘ヨリ同貳拾錢同貳拾五錢同三拾錢同四拾錢同五拾錢同七拾五錢同壹圓ナリ此外珍器各種大取次仕候間御用之御方樣方郵便ヲ以テ御註文被下候ハヾ早速御屆可申上候諸々ニ似寄ノ品相見ヘ候得共弊舗ノ精製ニ勝事不能目印能々御吟味之上御求可被下候也

目印

淺草海苔 味附本舗

兩換 鰹節

淺艸茅町二丁目貳拾貳番地

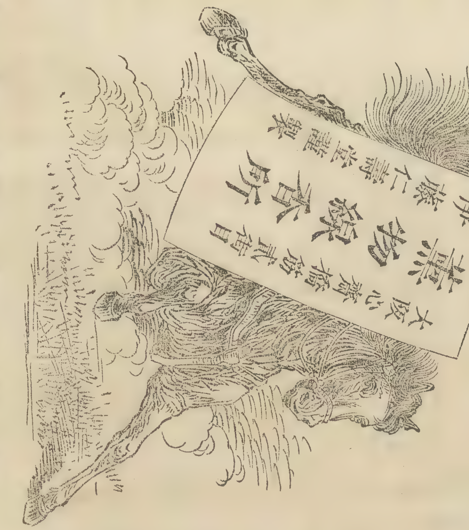
山口屋伊兵衛製

御膳 麹町五丁目横町 三河屋吉五郎

博覽會場 賣品之證

無花果ジャム

芳しき梅乃浪華にくゆらする薫りは花か立昇る烟りもいとゞ時めきて風雅不風雅隔て無く共に精神れ澄渡る月宮殿の境にも入にし況乃床しみれ是皆香の德なりけり爰に弊舗なる製する處は藥種も皆舶來の好しき品を撰ミ用ひ殊に淨らかなる室に於て精製しものなれバ其烟り朗らかにして薫り遠くに滿ち久しく貯て香氣散とあし幸に四方諸君子愛顧を茲ゐ垂れ尋常の蚊遣蠅除と同一視做無く試に一柱と擧く點じ給はゞ其効驗自から瞭然ならんと爾云



大阪心齋橋貳丁目 仁壽堂本店

大阪土佐堀三丁目 同支店

西京境町松原南入 同支店

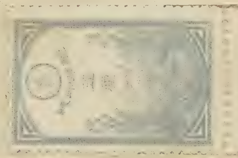
奈良内侍原町 同支店

大取次人名表

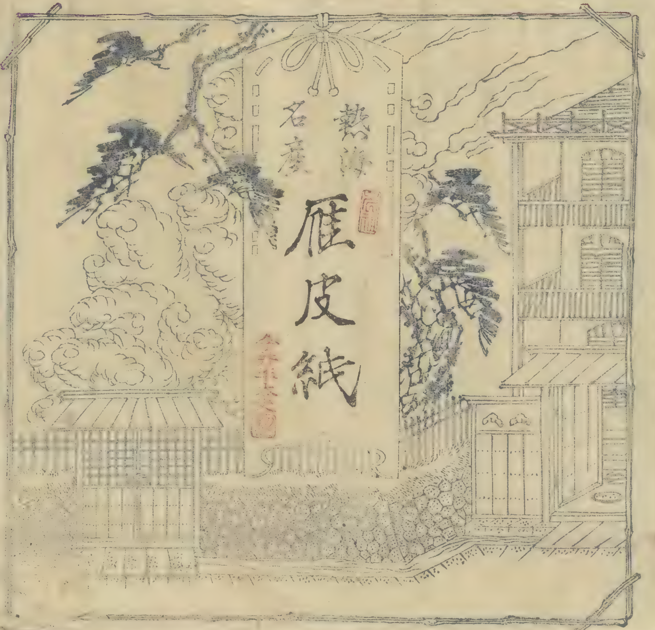
免許

大瓶 定價 八銭
中瓶 仝 四銭

雲月兼出
國分
箱入
紙包
品々



大極上



清火極製
一 安濃あめ
氷 製　折詰御好次第
あ玉あめ　曲物入御好次第
水あめ

右新調の飴類發明仕候ニ付第一好味ニ一層の注意を盡し其製を密にして寒暑のうれひなく遠路へ御進物等之際ハ器を輕便にして以て其價を廉にし奉調進候尤あこぎあめの如きハ御病人虚弱の御方平常に服慰給ハヽ功驗á齋しと云ふ冀くハ諸君様の御愛顧を蒙り御用被命候様奉願候以上

紀元貳千五百三十七年
明治十年十二月開業
津地頭領町西側
廣屋多七

瀬戸物大安賣

今川橋

太田孫兵衛

[illegible]

開 一新搆社 社中判取 同盟結社

濱松以東 東京江六十五里

- 見附（三り二十五丁） 泊 石橋六郎 ／ 休 むら田又藏 ／ 泊 大江戸屋万太郎
- 袋井（一り二十一丁） 泊 本田屋留平 ／ 休 山田屋寛一郎
- 原川 休 かねたや林藏
- 掛川（二り二十一丁） 泊 松屋嘉平 ／ 泊 藤屋文藏 ／ 休 ときわや藤吉
- 馬喰 休 一木屋喜作
- 日坂（一り三十二丁） 泊 川坂屋治郎 ／ 休 あづまや清藏
- 小夜中山 休 小泉忠六郎
- 金谷（一り二十四丁） 泊 小澤屋市郎右工門 ／ 休 近江屋傳藏
- 島田（一り） 泊 中島屋治郎兵衛 ／ 休 いせや又右工門
- 藤枝（二り九丁） 泊 越前屋治郎兵衛 ／ 休 うのや傳藏 ／ 泊 万年屋七十郎
- 岡部（一り二十六丁） 休 まきや久藏
- まりこ（二り九丁） 泊 四ッ目屋治作
- 静岡（一りはん） 泊 東萬屋清三郎
- 江尻（三り） 泊 京屋源平
- 興津 泊 水口屋半十郎
- 可睡齋三尺坊 濱松ヨり六り
- 森（三り） 大黒屋源五郎 ／ とわたや彌兵衛
- みくら（三り） 白木屋七五郎
- 犬居（八り十丁） 油屋兵右工門
- 坂下（五十丁） 高木屋安兵衛 ／ 万屋新八
- ぬまた（五り） 入口屋貞次郎
- 秋葉神社 濱松ヨり十り

濱松宿 大米屋市郎右工門

濱松以西 西京江六十里

- まい坂（三り一丁） めうがや清兵衛
- 海上一り あら居 きの國や彌左工門
- 堀留より新所江 蒸氣船賃十二錢 海上六り
- 入野村（一り） 福井萬平
- 蒸氣船賃十錢 海上五り
- 新所 濱田屋善次郎 二川江二り
- 白すか（一り二十九丁） きりや惣次郎
- 二川（一り十九丁） 休 橋本屋治郎吉 ／ 泊 山家屋助五郎 ／ 泊 西橋本平七
- 大岩 岩田屋七五郎
- 豊橋（二り三丁） 泊 まそ屋正七郎 ／ 休 さがみや平左工門 ／ 休 朝倉利兵衛
- をぐどり 豊川 泊 若葉屋初藏 ／ 泊 角まそ屋仁兵衛
- 新城（三りはん） かしわや惣左衛門
- ごゆ（二り三十五丁） 休 ゑびや安左工門 ／ 泊 いてうや伊左工門
- 赤坂（十七丁） 泊 こいや治八 ／ 休 白木屋忠吉
- 藤川（二り十九丁） 泊 ふぢや半次郎 ／ 休 桑名屋留吉
- 岡崎（二り一丁） 休 まそや六三 ／ 泊 まきのや篤次郎 ／ 泊 かぎや善四郎 ／ 泊 まき分や文治
- 矢矧 休 ふぢや傳藏
- ちりう（三り二十七丁） 泊 山吹屋新兵衛
- 名産絞店 有松 鈴木紣屋源助 ／ 井桁屋七左工門 ／ 竹屋佐太郎 ／ 紣屋長兵衛
- 同なるミ（三り三丁） 泊 千代倉徳雄 ／ 輪違屋平左工門
- 宮（一り二十八丁） 泊 桔梗屋喜七 ／ 休 鈴木屋米太郎

検査	検査	検査	検査	検査	検査	検査	検査	検査	検査	検査	検査
六月十九日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日

一 診察調藥每日[illegible]時限リノ事
一 診察調藥ノ時序ハ貴賤貧富ニ係ハラス來會ノ順次タルヘキ事
一 外出診療每日十二時過ノ事
一 休業ハ每日曜日ノ事
一 急病ハコノ限ニ非サル事
一 藥代現料ハ[illegible]
一 各々其月末ニ持參可被成事
横濱[illegible]
[illegible]醫局

20618

御膳 信州更科蕎麥所

一 ゆでやうの義ハ湯をたぎらせいまだかき[illegible]
一 [illegible]
一 遠方の[illegible]

御 殺切 [illegible]
御 東 [illegible]
御 [illegible]

麻布永坂町 [illegible]

ぬのや太兵衛

鳩居堂薫物目録

梅花	擬梅花之香也春元可用之	
荷葉	夏月殊施芬芳	すゞしさはかはるのとそれにそふする
侍従	秋風蕭颯とて…にこくそれりこ	よ仍く花る色て
菊花	清慎公曰菊花之法者長生久視之香也	調之薫之者都老増壽 / 菊花のつゆをいたゞきて
落葉	秋のものよりもおもしろきはそのすゑとちらん	のとよりとよにけくかへめらんかなるり
黒方	冬夜氷深時有其匂不被封寒	
	以上六種延喜香方據宗遍法師薫集類抄製之	名下小詞皆用抄中語
千種	倣小野宮殿梅花之方	
祝の水	倣公忠朝臣荷葉之方	
新祝	倣枇杷大臣菊花之方	
薫衣香	倣八條宮殿蘇身香方	
千代松	倣観教僧都黒方	
	以上六種就諸家之古秘傳特選其名方製之	
大内	倣明劉鶴麗桂香	

黒香餅
京都寺町姉小路
熊谷鳩居堂精製

慶雲香	倣高濮葡方	
金桂	倣唐僧長秀方	
蘭荷香	倣董玉初方	
玄玄	以下漢宮香方董遐周傳	
黒香餅		

以上六種印香擬支那古名家之方製之其形有方圓花紋之各種皆係包以當寮中之便

本舗所傳薫物印香線香貨品精錬價格眞實倶不攜是顧君子須認本舗招牌記以爲眞信

堂主熊谷鈞擴謹白

鳩居堂薫物目録

梅花　擬梅花之香也春尤可用之

荷葉　夏月殊施芬芳
もちまれははなのおとそいふなる

侍従　秋風蕭颯として心よくきかりこ
よろへなる色し

菊花　清慎公曰菊花之法者長生久視之香也
聞之薫之者却老増壽
菊花みくるる白はまやかしも

落葉　秋のゆふもをまちるほともみちおちちりめ
肌とまちるとき心まこときふゆあらん

黒方　冬涯氷深時有其匂不被封寒

以上六種延喜香方據蓮法師薫集類抄製之
名下小詞皆用抄中語

千種　倣　小野宮殿梅花之方

祝の水　倣　公忠朝臣荷葉之方

新枕　倣　枇杷左大臣菊花之方

薫衣香　倣　八條宮殿躰身香方

千代松　倣　観教僧都黒方

以上六種就諸家之古秘傳特選其名方製之

大内　倣　明劉鶴龍桂香

MANUFACTURE
…RNISSANT LE MINISTÈRE DE LA MAISON IMPÉRIALE
DU JAPON

KŌRANCHA
…NUFACTURE de PORCELAINES de TOUS GENRES
A ARITA
DÉPARTEMENT DE HIZEN – JAPON

MAGASINS
A TOKIO　A NAGASSAKI

E. FOUKAGAVA
DIRECTEUR

慶雲香　倣　高方

金桂　倣　唐秀方

蘭荷香　倣　黄方

玄玄　以下薄方董退周傳

黒香餅

以上六種印香據名家之方製之其形有方圓花紋之各種包以為懷中之便

本舗世傳薫物所香貨品精練價格真實俱不惧恵顧君以本舗招牌號記以為真貨

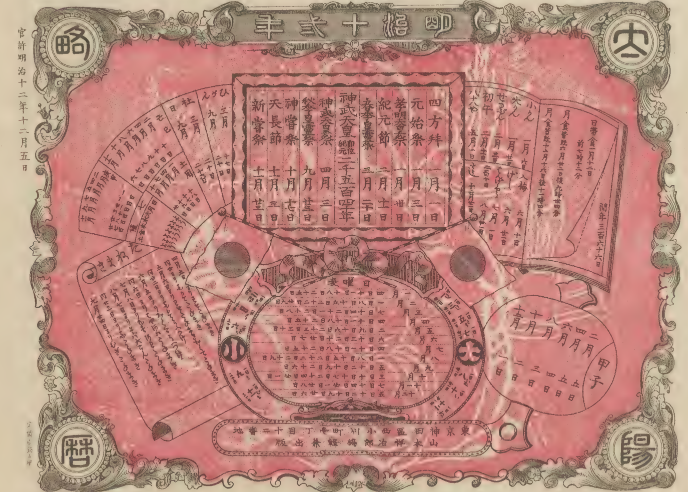
堂谷鈎璜謹白

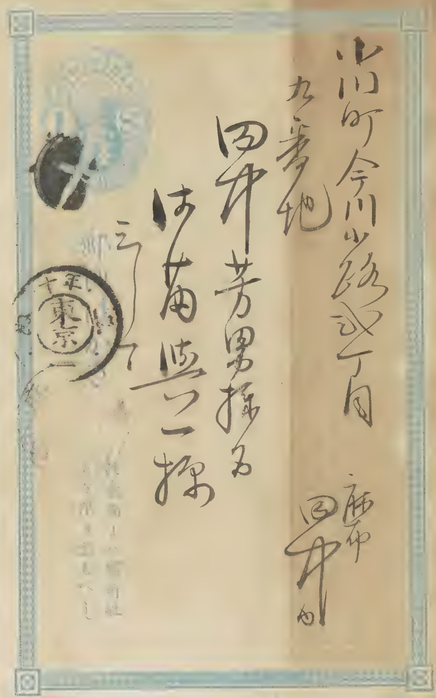
來月三日
天長節ニ付延遼館ニ於テ祝會相
開候間同日午後九時ヨリ禮服着
用同館ヘ御入來有之度候也
諾否ノ回答ヲ乞

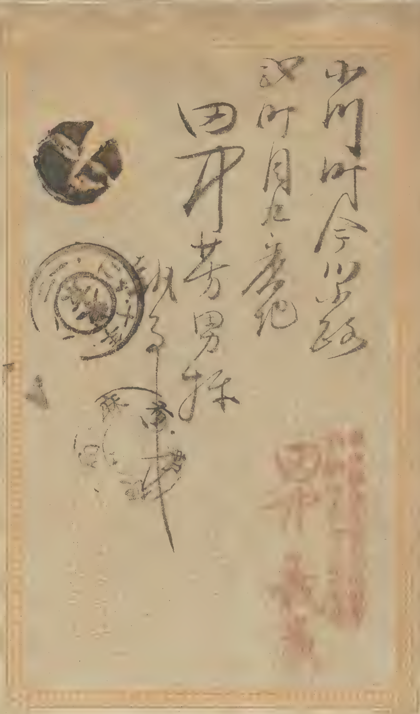
明治十一年十月廿日

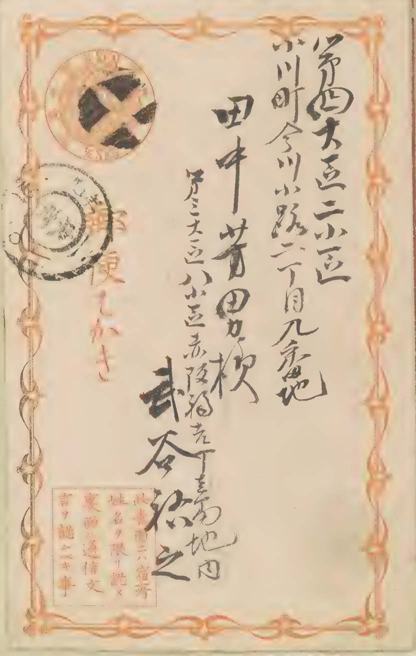
外務卿

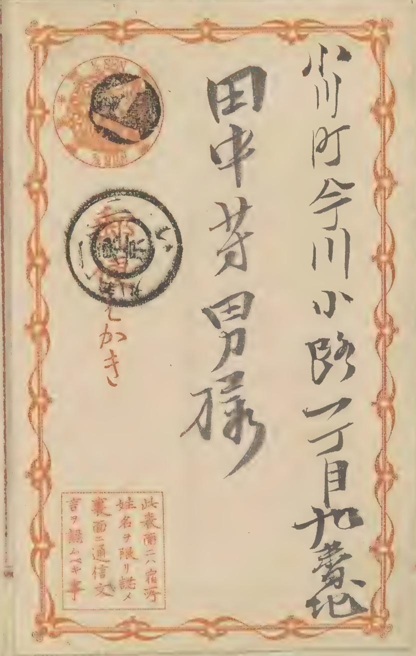
東京府内
品物配達所取次











明治十一年縣内物産博覧會

褒狀

志摩國英虞郡越賀村
井上太市

糟漬鮑

製法良好ニシテ香味尤佳ナリ此製未
他邦普ク施行セサル所一層精盛
ナラシメハ需用随テ多カルヘシ

博覧會品評係

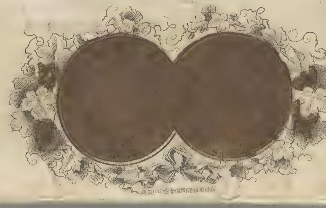
右其係ノ品評ニ依リ之ヲ
褒賞ス

明治十一年十一月

三重縣

一和歌山産萬壽言
御庭焼花瓶

一



青森県ブランデー

嬉屋酒

文石万歳

清香遠馳
瑞雪輕飛
花肯月席
誰不携歸
牛込通寺町
船橋和泉

練羊羹

御蒸菓子

仏蘭西形ニッテ鍋
代價金六銭
拾四にて
増田

上等　八百善

神田須田町
松岡製

JAPANESE BITTER

近来泰西諸國ニテ專ラ行ル、有功無害ノ良剤ニシテ予コレヲ傳授スル所ナリ
樂善堂岸田吟香謹白

健胃補益 ビットル

平常服用スレハ身体強壮ニシテ非常ノ悪氣流行病等ノ患ヲ除クノ効アリ
東京麻布網代町
本家　松田藤吉謹製

大垣魚屋街
香貝(?)
小川活三製

大源

南傳馬町壹
梅ヶの枝でんぬ
清水鉄次郎製

POMADE WATRE
新発明 美養水
日盛堂製

GIMMISEI

今川小路
名歌邑光（?）
貳丁目

忘乃丹

請合
御煙筒

炭酸泉

博覧會場
賣品之證

奥津温泉廣告

奥津温泉分拆表　温度華氏百〇七度

此水ハ透明類黄色ニシテ硫化水素ノ臭氣ヲ有シ其味甘軟亞兒加里性ノ反應ヲ徵シ其異重ハ攝氏十一度ノ温ニ於テ一〇九九九九ニ在リ

酸類

格魯兒 極少量　硫酸 少量　炭酸

珪酸 少量

鹽類

鐵 極少量　石灰 少量　苦土 少量

加里 少量　曹達 稍多量

醫治功用

此泉ハ亞兒加里性ニシテ多量ノ炭酸曹達ヲ含ムガ故ニ僂麻質性諸病腸胃衰弱及之ヨリ發スル下利慢性氣管支炎神經性諸病貧血諸症等ニ効アリ

奥津温泉ノ諸病ニ效驗アル世人ノ遍ク知ル所タリ然シテ其性分ニ至テハ或ハ未タ之ヲ知ラサル有ルヲ恐ルヽナリ因テ今大阪司藥場ニ於テ試驗スル所ノ分拆表ヲ掲ケ以テ之ヲ詳ニシ且其地形ノ概畧ヲ寫シ以テ未タ此地ニ至ラサル者ニ告ントス抑本村ノ地形タル後ロニ千仞ノ峯巒アリ前ニ一帶ノ溪流アリ泉ハ乃チ溪流ノ畔ニアリテ景光殊ニ佳絶春ハ花ニ宜シク秋ハ月ニ宜シク冬日ノ雪景亦愛スヘシ且夫三伏ノ節ニ方リテ暑ヲ此鄕ニ避ケ浴又一浴塵氣ヲ濯ヒ汗液ヲ消ス礦泉透明ニシテ石隨磊々温凉宜キニ適シテ肌膚爽快浴シ了リテ樓ニ登リ清風ニ向テ髮ヲ櫛リ青山ニ對シテ枕ヲ欹ツ連峰窓ニ當リテ積翠滴ルカ如ク終日炎熱ヲ忘レテ起臥意ニ任ス蚊虻ノ膚ニ迫ルナク俗事ノ耳ニ至ル無シ溪流ノ清冽ナル以テ茗ヲ煎スヘク香魚ノ肥鮮ナル以テ酒ヲ侑ルニ堪タリ是此鄕ノ超凡ナル所以ニシテ温泉ノ靈益靈ナル蓋シ亦之ニ因ルモノカ一タヒ此境ニ到ル者ハ啻ニ溯泉ノ病ヲ治スルノミナラス亦自ラ仙遊ノ想ヒアラシム乞フ四方ノ諸君陸續來浴シテ其健康ヲ保タレンヿヲ謹テ廣告ス

岡山縣美作國西々條郡奥津村

明治十二年三月

牧野儀太郎

甲斐名産

甲府八日町壹丁目
牡丹亭金升

皇國第一
龍眼肉製
本家

鯛味噌

此鯛味噌の儀ハ他の製ニ異なり自家ニ於て發明致し龍眼肉を調和し生薑を加へ精製仕候品ニて諸方ニ在觸たる雜品ニあらざゆゑニ常ニ膳部ニ供へ召上りて其功能あり第一氣力を増し腎を補ひ肌膚を潤そ美味なり○近頃他家ニ紛敷品相見へ候間自家の町名家號等御吟味の上御求め被下度奉願上候

東京京橋區尾張町二丁目廿二番地
本舗鯛味噌
紀伊國屋 鈴木吉兵衛調進

四時ニ食シ其佳味旬ニ同ジ鑵ヲ開カザレハ久シク貯存スベキ也

DIRECTIONS
WHEN EAT INEOUR SEASONS
ITS TASTE IS AS NICE AS
AUTUMN.

日本近江國産

まつたけ

MUSHROOM
JAPAN

近江國大津倉橋町本多儀八製造

世界活物大概集

東

位	名	よみ
大関	獅子	しし
関脇	熊	くま
小結	蛇	じや
前頭	鰐	わにざめ
前頭	水牛	うみうし
前頭	馬	むま
前頭	貘	ばく
前頭	飛龍	ひりやう
前頭	狼	おほかみ
前頭	駱駝	らくだ
同	鴻	こう
同	角鷹	くまたか
同	孔雀	くじやく
同	野馬	しりう
同	海馬	あしか
同	洋犬	かめ
同	猿	さる
同	猩々	せうじやう
同	蠵亀	せうがめ
同	マンボフ	まんぼう
同	鯛	たい
同	豕	ぶた
同	狐	きつね
同	貉	むじな
同	鳫	がん
同	鷹	たか
同	七面鳥	しちめんてう
同	鳶	とび
同	鵜	う
同	犬	いぬ
同	虵	へび
同	反毛鶏	しやも
同	梟	ふくろう
同	猫	ねこ
同	栗鼠	きねずみ
同	鴨	かも
同	鴛鴦	おしどり
同	鰹	かつを
同	鮃	ひらめ
同	鮭	さけ
同	鮟鱇	あんかう
同	鰤	ぶり
同	鯖	さば
同	蝦	えび
同	土龍	もぐらもち
同	鰻	うなぎ
同	蛸	たこ
同	鱸	すずき
同	鯰	なまづ
同	鰐	わに
同	時鳥	はいち
同	水鶏	くいな
同	鶺鴒	せきれい
同	鶉	うづら
同	鴿	はと
同	頬白	ほほじろ
同	燕	つばめ

中央

大隊長 龍　天子ノ尊顔ヲ拝スルヲ龍顔ヲ拝ストイフ

副隊長 麒麟　天子ノ怒ヲ逆鱗トイフ　鳳凰　天子ノ御輿ヲ鳳輦トイフ

寿命隊長 鶴　千年ノ寿命ヲ保　亀　万年ノ寿命ヲ保

魔物隊長 天狗　鼻高シ　小天狗　嘴長シ

大物隊長 象　大陸之大物　鯨　大海之大物

西

位	名	よみ
大関	虎	とら
関脇	牛	うし
小結	鷲	てし
前頭	鯱	しやちほこ
前頭	豹	ひやう
前頭	犀	さい
前頭	狒々	ひゝ
前頭	雷獣	らいじう
前頭	猪	いのしし
前頭	驢馬	うさぎうま
同	白鳥	はくてう
同	紅鶴	とき
同	鸞鳥	らんてう
同	海豚	ゐるか
同	海獺	らつこ
同	ラシヤメン	らしやめん
同	河童	うつぼ
同	人魚	にんぎよ
同	泥亀	すつぽん
同	鮫	さめ
同	鱝	あかゑい
同	鯉	たい
同	羊	ひつじ
同	狸	たぬき
同	獺	かはうそ
同	我鳥	がてう
同	隼	はやぶさ
同	雉子	きじ
同	鶯	うぐひす
同	鷺	さぎ
同	狆	ちん
同	蛇	うはばみ
同	鶏	にはとり
同	木兎	みみづく
同	鼬	いたち
同	兎	うさぎ
同	家鴨	あひる
同	鸚鵡	あうむ
同	鶫	つぐみ
同	鰈	かれい
同	鱈	たら
同	鯉	こい
同	鰶	このしろ
同	鯔	ぼら
同	鯊	はぜ
同	蟹	かに
同	鮑	あはび
同	烏賊	いか
同	鮎	あゆ
同	太刀魚	たちうを
同	黄鳥	うぐひす
同	鳩	はと
同	鶚	みさご
同	雲雀	ひばり
同	目白	めじろ
同	山雀	やまがら

明治十二年六月十七日御届　定價二錢五厘　編輯兼出版人　神田区末廣町十番地　石坂吉兵エ

百五十五號 十三錢
百六十六號 十八錢

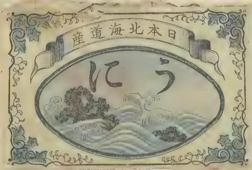
延客賓榛香佐班宴
岑邀月影偕還清晝
滌石霽涯味采音典
犁車轍開

嘗蘇村店製菓…之日其韻 […]

淺成喉羨山花
條年也鶴 白香山句
為桂家主人囑 […]老人

老伴

撰東濱五雷



煙草印紙

馬鈴薯製

雪の峯

奥平野村
山口富三郎謹製

大略

抑此雪の峯の儀ハ即馬鈴薯より製し近來迄ハ世人此薯の滋養あるとを知らざる者の如し外交開け爾來其効分判然たり則胃中ニ於く消化宜く緩和滋養發汗の効あり是と暑寒の別なく飲食すれハ腎精を増し健康長命なるとうたがひなし其原質たるや彼の薯の液汁を取り是を能く干水し無味無香の白色よしく光輝状あり故ニ砂糖を加へ或ハ生姜の香氣を加へ製せるあり是を用ゆるよハ沸湯を直ニ入き攪拌すきハ葛湯の如くなるなり暑ニハ水ニく用るも可也諸君請食しく此風味と知玉はんとを希望す

奥平野村住
山口富三郎敬白

亞州熱海
御定宿

元本陣
渡邊彦右衛門

大略

抑此雪の峯の儀は即馬
鈴薯より製し近來迄は
世人此薯の滋養あること
を知らざる者の如し外
交開け爾來其効分判然
たり則胃中に於て消化
宜く緩和滋養發汗の効
あり是を暑寒の別なく
飲食すれば腎精を増し
健康長命なるとうたが
ひなし其原質たるや彼
の薯の液汁を取り是を
能く干水し無味無香の
白色にして光輝状あり
故に砂糖を加へ或は生
姜の香氣を加へ製せる
なり是を用ゆるに沸
湯を直に入れ攪拌すき

煙草印紙

老伴

日本北海道產

うに

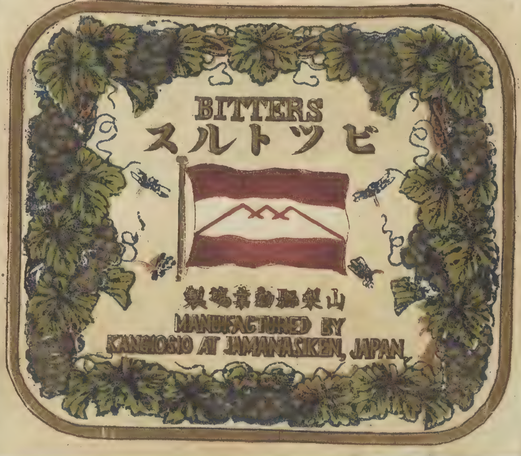
馬鈴薯製

雪の峯

攝津國八部郡
奥平野村
山口富三郎謹製

豆州熱海
御定宿

元本陣
渡邉彦左衛門



大上

東鶴

新製

播磨赤穂

焼粉塩

尾崎町

山本氏

今川小路二丁目

八番地

畑芳男様

越後出雲崎

名物

京都博

覧會場

賣品證

賣捌所

東京第壹大區十五小區

本八丁堀五丁目三番地

池田忠兵衛

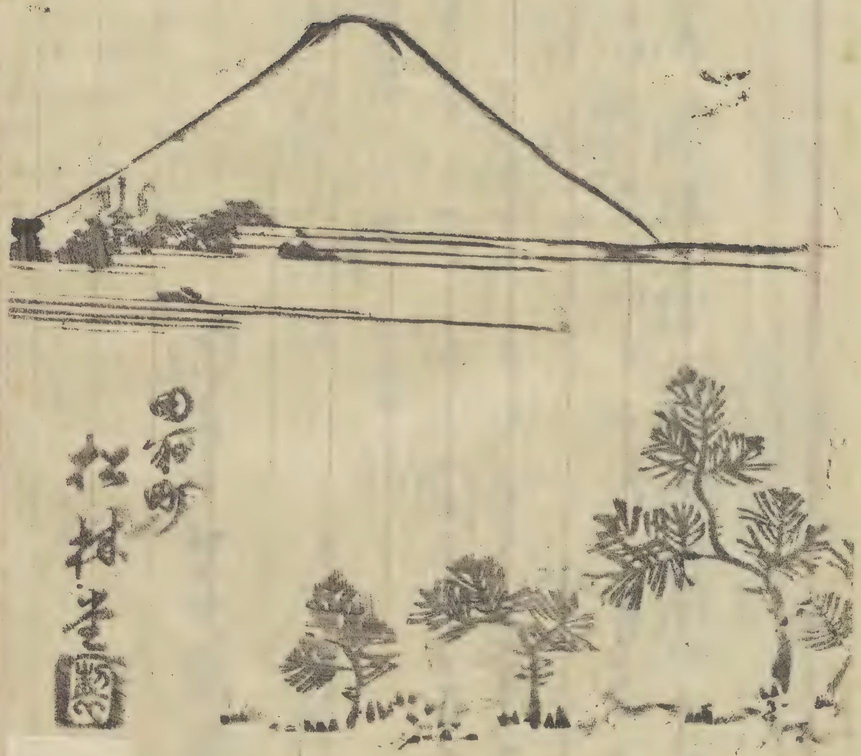
IKEDA CHIUBEI.

官許

黒丸子

越中富山 廣貫堂

煙草印紙



矢ノ根や
冥井治助

煙草印紙

DIRECTIONS.

Serve cold or hot. When required to be heated, put the can, before being opened, into boiling water for thirty minutes.

目印 官許 四海 浅井萬金膏（うちみくじきやく） 壱枚代壱銭

東京麹町隼町 中島稱善

本家製薬所

[illegible]

牛酪

バター

勸農局

下總種畜場試製

油漬鰮魚

SARDINES AL' HUILE.

かに

蟹

日本北海道産

開拓使物産局製

ます

SPRING SALMON.

PREPARED BY THE BUSSAN-KIYOKU.

KAITAKUSHI DEPARTMENT,

HOKKAIDO JAPAN.

綠蠵龜

GREEN TURTLE.

勸農局製

綠蠵龜

GREEN TURTLE.

AGRICULTURAL DEPARTMENT

東京 KWAN-NO-KIOKU. 日本

TOKIO JAPAN.

大日本國石川縣所產

金澤區尾張町三十六番地

水產廣業社製造

油繪具 水繪具 布地類 其他畫塲用品 數種

油繪具並布地製造開祖

…町三丁目

三…州問屋

村田宗清

○拙者繪具之儀御得意樣方御愛顧ヲ蒙リ難有既ニ內國博覽會ニ於テモ賞牌ヲ賜リ依テ今回一層勉勵シ油繪具ハ勿論其他簡易ヲ旨トセシ水繪具類及ヒ畵塲用品ニ至迄一切整頓候間四方之雅君御來車購求アランヿヲ希フ也
但御注文ハ何品ニ不拘至急相辨可申候尤勸工場エモ陳列致置候

店主謹白

各地取次所

大坂本町壹丁目 芝田惣兵衛

西京烏丸四條上ル 林久造

名古屋本町通鐵炮町 大澤重右衛門

東京浅草駒形町 竹内久兵衛

同尾張町一丁目五番地 荒井市三郎

官許 Solution Alterative and Solvent, 明治水

元賣弘所 東京 本町三丁目 岸田吟香

大取次 東京 銀座二丁目 精錡水本舗

七日分 三日分 一人 金四拾八錢

○抑此明治水ハ英國倫敦府大醫タンチャル氏の親しく多年試ミし名方にして世上にあまたある藥の類にあらず總て諸毒一さいの療法よりなれる諸病につき其効能左に略記す

[illegible]

○右明治水は實に稀代の妙藥にして世上にあまたある口中と爛かし一時遁の藥にあらず誠に永く服用すれば其本源の毒を去る神劑なり依て私方にて賣捌申候是れ一己の利を貪るにあらず聊か近傍貴兄弟の病苦を救ん爲めなり試みて其の神効を御賞あらん事を希ふ

大取次賣弘所 筑前博多中島町 精錡水支店 五丈堂藤井孫次郎

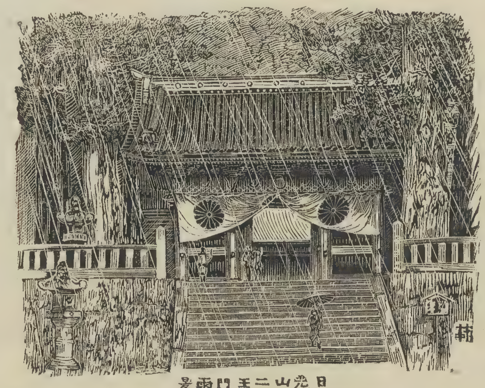
明治十二年八月臨時競馬組合

番號	賞名	距離	持主	馬名	毛色	寸尺	服色 帽	服色 胴	服色 袖	騎手
第一	一ノ谷	七分五厘	陸軍省	脫兎	鹿	九寸二分	青	青	赤	石田春助
			同上	拡野	青	五寸七分	赤	赤	青	中村武一
			同上	野馬臺	青	七寸	黃	黃	淺黃	北村德太郎
			同上	梅氣	鹿	四寸七分	白	白	紫	藪重端一
			同上	塵花	星糟	七寸五分	紫	紫	白	栗崎鎭五郎
			同上	春榮	鹿	四寸七分	淺黃	淺黃	黃	武部金太郎
			宮內省	戶來	青	七寸五分	白地紅線	白地紅線	白地紅線	北村權馬
第二	味方ヶ原	同上	陸軍省	前山	杤栗	六寸	時色	時色	青	宇野美政
			同上	船尾	杤栗	六寸	黃	黃	淺黃	伊藤悅二郎
			同上	去川	鹿	四寸六分	白	白	紫	日根野要吉郎
			宮內省	都川	栗	八寸五分	白地紅線	白地紅線	白地紅線	桑島忠則
			警視局	初花	鹿	七寸	赤	赤	青	根村當一
			酒匂少尉	撒彈	鹿	七寸	青	青	赤	大坪叙重
			川西富五郎	電	河原毛	五寸六分	桃色	桃色白襷	桃色	京田懷德
第三	衣川	同上	東伏見宮	玉蓉	黑鹿	八寸	淺黃	淺黃	黃	松崎豐二郎
			勸農局	豐駒	芦	七寸四分	赤白	赤	白	林駒吉
			林少佐	花房	青	六寸四分	紫	紫	白	根村當行
			岩下大尉	楓	栗	五寸四分	鼠玉虫	玉虫	鼠	久保田成章
第四	桶狹間	同上	陸軍省	蹄閣	青	七寸四分	時色	時色	青	大川美馬
			同上	代々春	青	六寸五分	青	青	赤	山田米藏
			同上	角弓	青	六寸五分	赤	赤	青	富岡復起
			宮內省	朝霞	鹿	七寸四分	白地紅線	白地紅線	白地紅線	岡治善
			警視局	加美川	鹿	七寸一分	白	白	紫	神谷忠平
			岩下大尉	雷光	杤栗	六寸五分	鼠玉虫	玉虫	鼠	久保田成章
			津吹少尉	平	栗	九寸二分	黃	黃	淺黃	瀧田勝助
第五	山崎	半廻り	陸軍省	[illegible]漲	杤栗	六寸四分	紫	紫	白	森七郎
			勸農局	豐島	鹿	八寸七分	赤白	赤	白	松村龜吉
			警視局	梅崎	青	六寸四分	淺黃	淺黃	黃	根村當一
			御雇教師アンゴー	ボンレチー	鹿	九寸一分	萌黃金飾	萌黃	黃	久保田成章
第六	川中島	七分五厘	陸軍省	万木	鹿	三寸六分	時色	時色	青	千種有冬
			同上	歸燕	青	六寸二分	青	青	赤	岡誠太
			同上	美倉	青	六寸一分	赤	赤	青	伊藤英二郎
			同上	淡粧	栗	九寸八分	黃	黃	淺黃	土井馬吉
			同上	阿曹海	栗	七寸五分	白	白	紫	寺岡儔
			宮內省	福岡	青	五寸六分	白地紅線	白地紅線	白地紅線	京田懷德
			御雇教師アンゴー	サンテルム	青	七寸	萌黃金飾	萌黃	黃	久保田成章
第七	關ヶ原	飛越 同上	陸軍省	佩玉	青	七寸	青	青	赤	小西賢
			同上	勝錦	青	七寸四分	赤	赤	青	津田熊二郎
			同上	玉野	青	六寸四分	白	白	紫	石井兵太郎
			同上	前ケ濱	青	四寸二分	紫	紫	白	松島茂樹
			同上	駒ケ原	杤栗	七寸四分	淺黃	淺黃	黃	根村當行
			同上	樺太	栗	五寸二分	時色	時色	青	松田松太郎
			磯野中尉	玉機	鹿	六寸	黃	黃	淺黃	殿木宗篤
第八	姉川	一廻	陸軍省	保眞	栗	五寸九分	赤	赤	青	馬詰輝三
			同上	火輪	青	六寸五分	黃	黃	淺黃	綿貫作太郎
			宮內省	三ノ戶	青	七寸八分	白地紅線	白地紅線	白地紅線	木村介一
			勸農局	宮岡	青	七寸四分	赤白	赤	白	松村龜吉
			平佐少佐	天津	青	六寸四分	青	青	赤	中村正忠
			御雇教師アンゴー	アルキャン	黑白班	五寸六分	萌黃金飾	萌黃	黃	久保田成章
			川西富五郎	霞	青	五寸五分	桃色	桃色白襷	桃色	福羽守人
第九	宇治川	同上	陸軍省	竪川	青	六寸七分	青	青	赤	久保田成章
			同上	三市	青	三寸五分	赤	赤	青	猪飼銓太郎
			西少佐	黃鶴	栗	五寸三分	時色	時色	青	松崎豐二郎
			岩下大尉	嵐	青	七寸	鼠玉虫	玉虫	鼠	谷野諒
			和田中尉	花見山	青	六寸二分	紫	紫	白	豐田善二郎
			前田少尉	七草木	鹿	八寸三分	白	白	紫	宮崎義一
			木村介一	雷	黑鹿	七寸四分	赤	白	赤筋襷	木村介一
第十	賤ヶ嶽	同上	陸軍省	金森	栗	五寸九分	紫	紫	白	塚田精造
			同上	志布志	杤栗	五寸八分	淺黃	淺黃	黃	松崎豐二郎
			同上	八十川	黑鹿	七寸九分	時色	時色	青	近藤吉太郎
			宮內省	關本	青	七寸	白地紅線	白地紅線	白地紅線	福羽守人
			勸農局	角總	青	九寸	赤白	赤	白	松村龜吉
			警視局	葛岡	青	八寸二分	白	白	紫	武藤竜二郎
			福永中尉	飛丸	鹿	八寸五分	黃	黃	淺黃	武井保作

備考

官馬ヲ以テ第八第九回ノ組合ニ入リ勝利ヲ得シ者ハ第八回ハ官馬中等ノ賞第九回ハ官馬上等ノ賞ヲ與フル者トス○自馬其勝ヲ得レハ題目表掲示ノ通リ賞與ス○當日雨天ナレハ順延ノ事

東京神田區
今川小路二丁目八番地
田中芳男



日光山二王門雨景

明治十二年八月　東京於戸山
臨時競馬觀覽證

軍馬局

鱈魚[illegible]油價書

一	小判形瓶詰	自壹瓶至拾瓶	壹磅ニ付	金貳拾七錢
一	仝	自拾壹瓶至五拾瓶	壹磅ニ付	金貳拾五錢七厘
一	仝	五拾壹瓶以上	壹磅ニ付	金貳拾三錢
一	葡萄酒麥酒類空瓶詰	自壹瓶至拾瓶	壹磅ニ付	金貳拾貳錢
一	仝	自拾壹瓶至五拾瓶	壹磅ニ付	金拾九錢八厘
一	仝	五拾壹瓶以上	壹磅ニ付	金拾七錢六厘
一	四拾磅入鉄葉箱詰	自壹箱至拾箱	壹磅ニ付	金拾七錢
一	仝	自拾壹箱至五拾箱	壹磅ニ付	金拾六錢貳厘
一	仝	五拾壹箱以上	壹磅ニ付	金拾四錢五厘

但鐵葉箱ハ石油空箱ヲ蒸流ヲ以テ能ク洗滌シ石油質ヲ除却ス

右之通候也

明治十一年八月　青森縣
第二課製造場

廣告

一御店様方益御機嫌能被遊御座恐悦至極奉存候隨テ私儀從來横濱神奈川鐵道并ニ早船運送榮業罷在候處御荷主様方之御引立ヲ以日増盛大ニ相成難有仕合ニ奉存候然ル處今般從前ノ場所ニ於テ武總上州野州出羽奥州利根川筋一般運送開業仕候間何卒是迄通御用向被仰付度偏ニ奉希上候

月　日

横濱神奈川
利根川筋
早船運送

鐵道荷物方 (力) 組

東海道并ニ武相甲州
海陸運送

東京新大橋際　樋屋勝治郎
同高砂町川岸　同出張所
同新橋鐵道際　同出張所
同小船町壹丁目仲ノ橋際　同出張所
同右所神奈川出張　古木甚吉
横濱辨天通六丁目　樋屋勝治郎
神奈川道際　古木甚吉

鐵道大荷物積時限
（四月一日ヨリ九月三十日マテ）午後六時限
（十月一日ヨリ三月三十一日迄）午後五時限
荷渡シ毎日午前七時ヨリ
但シ客車積ハ其時限不拘

稅納表
百斤ニ付金四錢
尤何程少ナキハシタ斤モ都合五條百斤之稅納之事

一日本酒　○砂糖　○ゲタ　○海草○
前同　金六錢
一日本紙　○茶　○麻　○木綿　○綿布　○傘○
莨葉（タバコハ）○油　○干魚　○鹽魚
同　八錢
一衣服　○蠟ろく　○莨製（タバコセイ）シ　○瀬戸物　○足袋　○野菜
同　拾錢
一ラシヤ　○毛織物　○手遊　○張拔細工
同　拾貳錢
一生糸　○乾藥（ホシクスリ）　○洋カサ　○洋紙　○家具　○時計○
陶器（ドウキ）　○小間物　○書籍（シヨジヤク）　○食料　○菜（クダモノ）　○皿類○
同　拾八錢
一日本塗物　○樂器
同　廿錢
一鏡　○縮布　○カイコタチ
同十斤ニ付五錢割合

右ハ御規則ニ各種有之此紙中ニ書ツクシカタク何きも御規則ニ隨（シタガヒ）大切ニ取扱可ヲ候以上

菊香水　散髪油
薔薇香水　捧鬚附（カスメチック）
百合花香水　耳掃除（ミツ道具）
山椒香水　スキ油（ツヤダシ）
牡丹香水
香水噴　御化粧道具

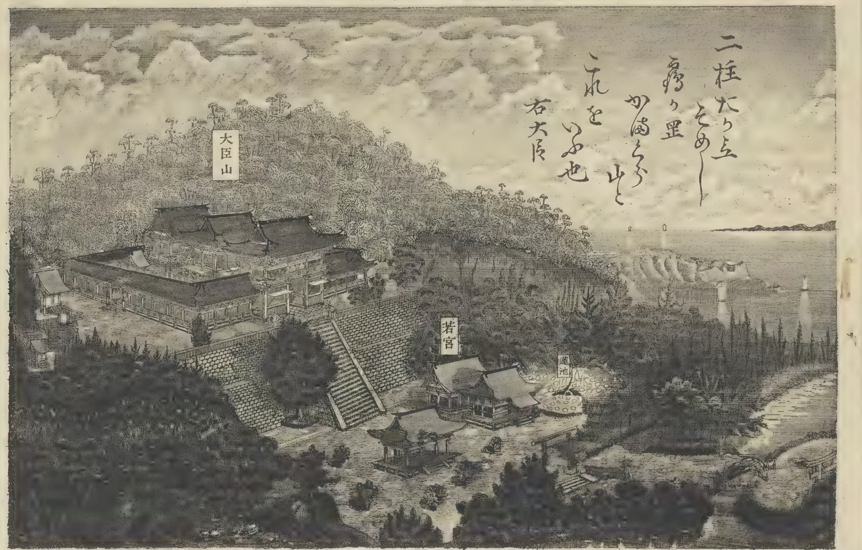
右の品ゝ拙舗ニ於て製造發賣仕來り所諸君の御愛顧を蒙り日ゝ隆盛ニ赴き [illegible]
一層 [illegible] 抱して諸の臭氣を消し
健康に保全すると危險の [illegible]
之を [illegible] 噴散すれば清涼にして [illegible]
[illegible]
[illegible]
極め廉價を [illegible]
上陸續 [illegible] 求めあらん [illegible]

香水本廛　東京第一大區九小區山下町九番地　四ツ目屋　木元忠兵衛

石鹸（シャボン）製造所　横濱三吉町四丁目　堤儀右衛門
賣弘所　東京山下町九番地　木元忠兵衛

金壹円
官許

鎌倉　鶴岡八幡宮　全景



泉泌雕

泉泌刻之

廣島産
牡蠣

OYSTER

Preserved by

KOSEIKWAN,

HIROSHIMA,

JAPAN.

日本

廣島厚生館製

名産

萬指物細工處

[illegible]

豆州熱海

丸屋喜助

辟邪香

辟邪香

此線香は邪悪の惡氣と拂ふ效あるゆへに疫病等の傳染易き病の流行する時に於て防ぎこれを焚き又は病人ある家にはへだて焚く時は他人へ傳染の患ひなし或は癇癪の閉さるなどいふ心經病ある人は此にほひを度々嗅く時は心經を鎭め精神を爽にそるゆへに忽ち治そること甚だ妙なり

此線香は種々の邪氣を拂ふ藥味を調合し製するものなれば常の線香とは其にほひよろしからず若このにほひを嫌ふ人はよき香のある線香とまぜ焚くもくるしからず

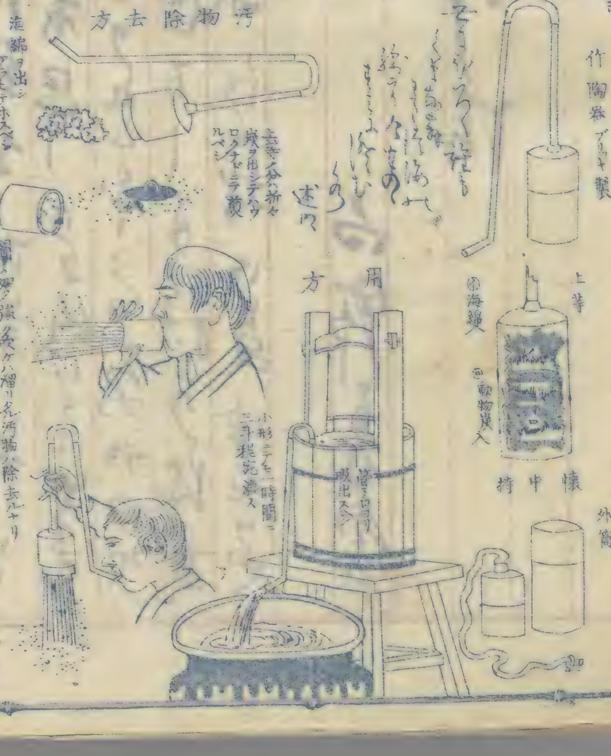
京都寺町姉小路角
熊谷鳩居堂

官許

新發明 簡易水漉器械

竹 陶器 ブリツキ製

定價 小十六錢 中十七錢 大十八錢



右器械ニテ瀘セバイカナル濁水モ清水トナル了速カナリ又上等ノ器械ヲ以テスレバ猶一層清浄トナリテ水質ヲヨクスルナリ若シ器械ノ損シタルハ御直シ可申候

發賣所 東京練塀町改正三十七番地三番地 發起人 添田音勢
上總國東隅郡部原村 同 江澤潤一郎
東京淺草下平右衛門町十三番地柳橋際 添田龍寫眞出張所 製造人 尾崎米吉

取次 渡島國箱館内澗町 森屋熊四郎
信濃國長野大門町 青木績

領收證

一 [illegible]

明治[illegible]年[illegible]月[illegible]日

大藏省
商務局

[illegible]

博物館出版物定價目錄

一有用植物見本	壹箱四層	金貳圓三十錢
一有用鑛物見本	壹箱	金壹圓六十錢
一有用木材提覽	壹部	金壹圓廿五錢
一動物學全編着色	同	金貳圓貳十錢
一同面部着色	同	金　壹　圓
一同　墨　摺	同	金九十五錢
一動物訓蒙	同	金　五　十　錢
一草木圖說目錄	同	金　壹　圓
一敎草　三十帙	壹帙	金　五　錢
附錄 鷹狩一覽	同	同
一草木乾腊法	同	金貳錢四厘
一動物壹枚摺	同	金壹錢五厘
一有用動物見本近成		

競馬縱覽之証

一此証ヲ所持スルモノハ特別區內ノ棧敷ニ入ルヿヲ得ベシ

一明治十二年十二月二十日雨天日送リ

芝區三田四國町

育種場

東京三田農局育種場

郵便報知新聞第二千百二十六號附錄

北海道

開拓雜誌

本年一月卅一日以後隔土曜日に出版す定價は一冊に付現金五錢にして一ヶ年分は前金一圓（但し府外は此外に一冊に付一錢宛の郵稅を申受く可く候）

北海道は地味肥沃にして氣候農桑に適し海には魚蟲の族を出し山には良材鑛物に富み我國の寶藏金庫なれとも其地山河萬重の外に在りて烟海茫々幾ど風土人情の報を得るに苦しむを以て適ま意を此地に属する人あるも逡巡空しく手を収むるに至るは吾輩の心私かに嘆惜する所なり依て今回開拓雜誌なる者を發行し全道の人情風俗政事教育及び海陸物產の收穫狀況は言ふ迄もなく彼地に適する草木蔬菜の培養より六畜飼育の方法、衣食什器の製造等に至る迄苟しくも利益ありと認むる事は紙筆を吝まず其要を論述し又開拓使の布令報告類にて事緊要に渉る者は新古漏さず掲げたれば潤屋富國に望ある諸君は幸に續々愛顧あれ蓋し我國今日の常談は金貨外出の嘆に非ざれば輸出入不平均の說のみなれども若し此雜誌の鍵を以て一たび全道の金庫を開かば縱使ひ此上千百萬圓の輸入品を増加するも亦た意とするに足らざる者あり試みに眼を放て米國カリホルニヤ州の現狀を視よ其開拓日尚ほ淺く年を閲する未だ二十餘に過ぎざるも今や其人民は既に六億三四千萬圓の產を有せり

農業雜誌（本年一月以後發兌日を隔土曜日と定め開拓雜誌と更互出版す定價は開拓雜誌に同じ）

東京新橋竹川町七番地
學農社雜誌局

東京日本橋通三丁目十四番地 書店 丸屋善七

Z. P. MARUYA & CO. CALENDAR.

TRADE (M) MARK

千八百七十九年 1879.

S	M	T	W	T	F	S
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日

一 JANUARY. 月

S	M	T	W	T	F	S
...	...	...	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	...

五 MAY. 月

S	M	T	W	T	F	S
...	...	...	...	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

七 JULY. 月

S	M	T	W	T	F	S
...	...	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	...	...

九 SEPTEMBER 月

S	M	T	W	T	F	S
...	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	...	...	...	...

二 FEBRUARY 月

S	M	T	W	T	F	S
...	...	...	...	...	...	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	...

JAPANESE HOLIDAYS.

January 1st, 3rd, 30th.
February 11th.
March 21.st
April 3rd.
September 17th, 23rd.
November 3rd, 23rd

Z. P. MARUYA & CO.,
Books, Stationery, Chemicals
Drugs & General Goods.
Nos. 34 & 35, Bentendori Nichome,
YOKOHAMA, JAPAN.

十 OCTOBER. 月

S	M	T	W	T	F	S
...	...	...	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	...

三 MARCH. 月

S	M	T	W	T	F	S
...	...	...	...	...	...	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	...	...	...	...	...

十一 NOVEMBER. 月

S	M	T	W	T	F	S
...	...	...	...	...	...	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	...	...	...	...	...	...

四 APRIL. 月

S	M	T	W	T	F	S
...	...	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	...	...	...

六 JUNE. 月

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	...	...	...	...	...

八 AUGUST. 月

S	M	T	W	T	F	S
...	...	...	...	...	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

十二 DECEMBER. 月

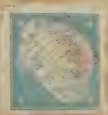
S	M	T	W	T	F	S
...	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	...	...	...

日曜日

月	日曜日
一月	五日 十二日（十九日）廿六日
二月	二日 九 日（十六日）廿三日
三月	二日 九 日（十六日）廿三日 卅日
四月	六日 十三日（二十日）廿七日
五月	四日 十一日（十八日）廿五日
六月	一日 八 日（十五日）廿二日 廿九日
七月	六日 十三日（二十日）廿七日
八月	三日 十 日（十七日）廿四日 卅一日
九月	七日 十四日（廿一日）廿八日
十月	五日 十二日（十九日）廿六日
十一月	二日 九 日（十六日）廿三日 卅日
十二月	七日 十四日（廿一日）廿八日

（）印ハ東京醫學會社集會日

BOOKS, STATIONERY, CHEMICAL DRUGS DEPT.,
Nos. 34 & 35. Bentendori Nichome, ... Yokohama.
BOOKS, STATIONERY & GENERAL GOODS DEPT.,
Nos. 14 & 15. Nihonbashidori Sanchome, ... Tokio.
CHEMICAL & DRUGS DEPARTMENT.
No. 14. HonchoNichome, ... Tokio.
TAILORING DEPARTMENT.
No. 6, Ginza Nichome, ... Tokio.
FURNITURE MANUFACTURING DEPT.,
No. 4. Owaricho Nichome, ... Tokio.
BOOKS, STATIONERY DEPARTMENT.
No. 14, Shinsaibashisuji Kitakiuhojimachi. .. .. Osaka.
CHEMICAL & DRUGS DEPARTMENT.
No. 34, Doshiumachi Nichome, ... Osaka.
MEDICAL INSTRUMENTS DEPARTMENT.
No. 10, Shinsaibashisuji Bingomachi, ... Osaka.
BOOKS, STATIONERY CHEMICALS & DRUGS DEPT.,
No. 548, Teramachidori Anegakoji, ... Saikio.
BOOKS, STATIONERY CHEMICALS & DRUGS DEPT.,
No. 9, Honmachidori Hatchome, ... Nagoya.



明治十二年略暦

祭日	月日
四方拜	一月一日
元始祭	一月三日
孝明天皇祭	一月三十日
紀元節	二月十一日
春季皇靈祭	三月廿一日
神武天皇祭	四月三日
神嘗祭	九月十七日
秋季皇靈祭	九月廿三日
天長節	十一月三日
新嘗祭	十一月廿三日

神武天皇即位紀元二千五百三十九年

大　大の月は三十一日

小　小の月は三十日　二月は二十八日

月	朔日	舊暦
一	一日さる	舊十二月小九日
二	一日う	舊正月大十一日
三	一日ひつじ	舊二月大九日
四	一日とら	舊三月小十日
五	一日さる	舊閏三月大十一日
六	一日う	舊四月大十二日
七	一日とり	舊五月小十二日
八	一日たつ	舊六月大十四日
九	一日ゐ	舊七月小十五日
十	一日み	舊八月大十六日
十一	一日ね	舊九月小十七日
十二	一日むま	舊十月小十八日

月蝕 十二月廿九日前初時五十六分左ノ下ヨリ虧ハジメ一時四十五分左ノ下ノ間ニ甚シク二時三十四分下ノ左ニテハル

水曜平年 三百六十五日

土用 一月十七日　四月十七日　七月二十日　十月廿一日

己巳 二月十五日　四月十六日　六月十五日　八月十四日　十月十三日　十二月十二日

甲子 二月十日　四月十一日　六月十日　八月九日　十月八日　十二月七日

庚申 二月六日　四月七日　六月六日　八月五日　十月四日　十二月三日

雜節	月日
初午	二月四日
節分	二月三日
小寒	一月六日
大寒	一月廿日
社日	三月十六日　九月廿二日
彼岸	三月十八日　九月二十日
八十八夜	五月二日
入梅	六月十一日
夏至	六月廿二日
半夏生	七月二日
二百十日	九月一日
冬至	十二月廿二日

書籍唐物藥品類

地	店	所	名
東京	書店	日本橋通三丁目	丸屋善七
同	唐物店	日本橋通三丁目	丸屋善七
同	藥店	本町二丁目	丸屋善七
同	仕立店	銀坐二丁目	丸屋善七
同	指物店	尾張町二丁目	丸屋善七
大坂	書店	心齋橋筋北久寶寺町	丸屋善藏
同	藥店	道修町二丁目	丸屋善八
同	醫用器械店	心齋橋筋備後町	中村屋善七
西京	書籍藥品	寺町通姉小路	丸善支店
名古屋	書籍藥品	本町八丁目	丸屋善八
横濱	書店	辨天通二丁目	丸屋善八
同	唐物店	辨天通二丁目	丸屋善八
同	藥店	辨天通二丁目	丸屋善八

記
一 御用箱
右正致落手候也
十二月廿四日
松方家
執事

証
一 金八拾四銭
右確受候也
九月九日
日進堂
田中様

荷物送り状記

物品箇数	番号
皇漢 石覺 壱箱	三角有儀也

原價

右今般 九江積込差送候間着岸御撿查之上御請取可被下候也

明治十五年十二月十一日

運賃金

届向
東京山下御門内博物館
田中芳男殿

出方

諸荷物運送問屋
大阪今橋西川岸
熊谷伊太郎

（印）運賃大阪拂

雲州十六嶋海苔

緑波楼主人製

東京尾張町二丁目
鱺れ佃煮
紀伊國屋
鈴木吉兵衛製

元祖
綿温石
綿どてら着 同鯉口 同腰巻
其外品々誂品ものし次第ニ仕候
おろし 小賣
東京浅草御蔵前尾張町
伊勢屋[illegible]

一高枝切鋏　壱ツ

證

右正ニ領收候也

明治十二年十一月廿七日

勧農局育種場

（印）育種場

書画骨董

諸先生書画

賣買仕候

久松町弐番地

徳新堂[illegible]

吉

萬漬物品々

小田原十字町三丁目

みのや吉兵衛

暑中相伴

御箸

上州[illegible]

山本十二郎

尊令鎮鳴動有感口占
鳴叱鎮座淺間春信仰山
靈亨鬼神爲見烟雲獰岫
影地天恭泰國中人

淺間山あえに
烟りの立登り
くもねまかこむ
磐長の神

分登るふもとの
道の直かるを
血の池瀧の
端し踰て行

右者山下追分驛曠原遙拜所營繕願望成就
追々登山相增スニ付テハ拙宅エ御休泊被
下度途中半腹名所血の池其外雜記差上御
案內致候也
附拙宅關東講浪花講修成講社榮世講猶
又中牛馬會社荷物遞送取扱所看板懸置
荷主方定宿相兼夜具家具坐敷共外都テ
入念渡世第一ニ精勵仕候間御往復之節
御休泊伏望候也

送り荷物請拂所御休泊所

浪花講
關東講
定宿

全 崇敬講社定宿
世 榮世講世話方
眞誠講

旅舍
Hotelu.
信濃國佐久郡追分驛
大國屋信太郎

廣告
近來各驛旅舎ニオイテ種々ノ講名看板ヲ掲ケ甲ヨリ
乙エ乙ヨリ丙ト同講エ旅客方ヲ案內致ス由右ハ旅舎
ノ善悪ヲ不論入社金及ヒ看板料出金致シ候家エハ看
板ヲ掲ケ置候趣ニ付自然旅客方ノ御迷惑筋不少些
舎儀者講エ不拘
皇朝ノ爲ニ報ハ　國恩
神社佛閣ニハ　崇敬
夜具家具座敷等ハ　一新
旅客方ヲ取扱方ハ　眞誠
開化ノ各君ニハ　文明
家名及ヒ營業ハ　榮世
前書ノ通リ勉勵仕候尤人力車夫エ酒代等一切不相
ニ付途中茶店或ハ車夫ヨリ種々申紛シ外旅舎エ相
ハ候トモ御採用ナク弊舎エ御來車被下度奉希望者

大信

本家
豊
げお物塩漬類品々
黒焼類品々
両國駒止橋際
豊田屋松之助

鑵詰貯藏品目
一牡蠣肉　一牛肉　一伏老
一鯛　一白魚　一海老
一松茸　一桃　一橡柑
一柚子　一梨　一梅實
一香橙　一竹筍
右之外魚獸肉類及菓物等數種製造セリ
且ツ果物ハ別ニ糖藏スルアリ

尊令鎮鳴動有感口占
鳴吼鎮座淺間春信仰山
靈亨鬼神爲見烟雲辭岫
影地天恭泰國中人

淺間山なえに
烟りの立登り
くもねみなこむ
磐長の神

分登るふもとの
道の直なるを
血の池瀧の
端し踊區行

右者山下追分驛曠原遙拜所營繕願望成就追々登山相增スニ付テハ拙宅エ御休泊被下度途中半腹名所血の池其外雜記差上御案内致候也

送リ荷物請拂
御旅泊所

附拙宅關東講浪花講修成講社榮世講猶又中牛馬會社荷物遞送取扱所看板懸置荷主方定宿相兼夜具家具坐敷共外都テ入念渡世第一ニ精勵仕候間御往復之節御休泊伏望候也

眞誠講

榮世講世話方

崇敬講社定宿

浪花講
關東講
定宿

旅舍 *Hotelu.*
信濃國佐久郡追分驛
大國屋信太郎

廣告

近來各驛旅舍ニオイテ種々ノ講名看板ヲ揭ケ甲ヨリ乙エ乙ヨリ丙ト同講エ旅客方ヲ案内致ス由右ハ旅舍ノ善惡ヲ不論入社金及ビ看板料出金致シ候家エハ看板ヲ揭ケ置候趣ニ付自然旅客方ノ御迷惑筋不少哉弊舍儀者講ニ不拘

皇朝ノ爲ニハ　國恩
神社佛閣ニハ　崇敬
夜具家具座敷等ハ　一新
旅客方ヲ取扱方ハ　貞誠
開化ノ各君ニハ　文明
家名及ビ營業ハ　榮世

前書ノ通リ勉勵仕候尤人力車夫エ酒代等一切不相渡ニ付途中茶店或ハ車夫ヨリ種々申紛シ外旅舍エ相進メ候トモ御採用ナク弊舍エ御來車被下度奉希望者ハ

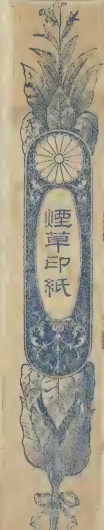
〇大信

果焼類品々
豆けが物塩漬類品々
両國駒止橋際
豊田屋松之助

鑵詰貯藏品目

一牡蠣肉　一牛肉　一伏老
一鯛　一白魚　一海老
一松茸　一桃　一檸柑
一柚子　一梨　一梅實
一香橙　一竹筍

右之外魚獸肉類及菓物等数種製造セリ
且ツ果物ハ別ニ糖藏スルアリ



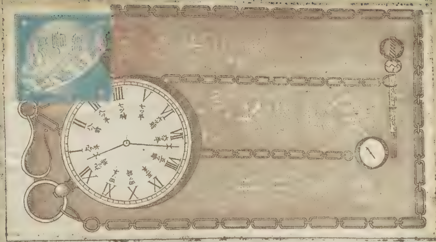
領證

一 報告 壹通

八月二日

宮内省

田中内務權大書記官殿



明治十二年己卯袖珍略暦

祭日	月日
四方拜	一月一日
元始祭	一月三日
孝明天皇祭	一月三十日
紀元節	二月十一日
春季皇靈祭	三月廿一日
神武天皇祭	四月三日
神嘗祭	九月十七日
秋季皇靈祭	九月廿三日
天長節	十一月三日
新嘗祭	十一月廿三日

神武天皇即位紀元二千五百卅九年

西洋一千八百七十九年

火曜 平年 三百六十五日

大

月	節	中	新月	上弦	滿月	下弦	朔
一	小寒 六日	大寒 二十日	廿二日	三十日	八日	十五日	一日甲申 戊寅十二月九日
三	啓蟄 六日	春分 廿一日	廿三日	一日 三十一日	八日	十五日	一日癸未 二月九日
五	立夏 六日	小滿 廿一日	廿一日	廿九日	六日	十三日	一日甲申 閏三月十日
七	小暑 七日	大暑 廿三日	十九日	廿六日	四日	十一日	一日乙酉 五月十二日
八	立秋 八日	處暑 廿三日	十八日	廿五日	二日	十日	一日丙辰 六月十四日
十	寒露 九日	霜降 廿四日	十六日	廿二日	三十日	八日	一日丁巳 八月十六日
十二	大雪 七日	冬至 廿二日	十三日	廿日	廿九日	七日	一日戊午 十月十八日

小

月	節	中	新月	上弦	滿月	下弦	朔
二	立春 四日	雨水 十九日	廿一日		七日	十四日	一日乙卯 己卯正月十一日
四	清明 五日	穀雨 二十日	廿一日	廿九日	七日	十三日	一日甲寅 三月十日
六	芒種 六日	夏至 廿二日	廿日	廿七日	四日	十二日	一日乙卯 四月十二日
九	白露 八日	秋分 廿三日	十六日	廿三日	一日 三十日	九日	一日丁亥 七月十五日
十一	立冬 八日	小雪 廿三日	十四日	廿一日	廿九日	七日	一日戊子 九月十七日

雜節	月日
節分	二月三日
社日	三月十六日 九月廿二日
彼岸	三月十八日 九月二十日
八十八夜	五月二日
入梅	六月十一日
半夏生	七月二日
二百十日	九月一日

土用 一月十七日 四月十七日 七月二十日 十月二十日

月食二分

甲子 三月十日 五月十日 八月九日 十月八日 十二月七日

庚申 二月六日 四月七日 六月六日 八月五日 十月四日 十二月三日

日曜表

月	日
一月	五日 十二日 十九日 廿六日
二月	二日 九日 十六日 廿三日
三月	二日 九日 十六日 廿三日 三十日
四月	六日 十三日 二十日 廿七日
五月	四日 十一日 十八日 廿五日
六月	一日 八日 十五日 廿二日 廿九日
七月	六日 十三日 二十日 廿七日
八月	三日 十日 十七日 廿四日 卅一日
九月	七日 十四日 廿一日 廿八日
十月	五日 十二日 十九日 廿六日
十一月	二日 九日 十六日 廿三日 三十日
十二月	七日 十四日 廿一日 廿八日

東京神田區美土代町二丁目壹番地
東光舍中川昇編輯兼出版

地球ノ太陽ヲ一周スル此ハ三百六十五日五時四十八分
五十秒弱ナリ此三百六十五日ヲ以テ太陽暦一年ノ日
數トシ之ヲ平年トス此餘數五時四十八分五十秒每四
年ニ積リテ一日ト成ル此ヲ平年三百六十五日ニ加ヘ三百六
十六日トシ之ヲ閏年トス而シテ其一年ヲ十二ヶ月ニ分ツ
一月三月五月七月八月十月十二月此七ヶ月ヲ大トシ三十一
日トシ四月六月九月十一月此四ヶ月ヲ小トシ三十日トス
二月ハ平年ヲ廿八日トシ閏年ヲ廿九日トス

廣告

清泉堂移轉 健胃酒發賣

清泉堂謹製

健胃酒

二合入一瓶 定價金三十錢

原名スト〻ツクビツトル

胃ハ人體ヲ養フ食物ヲ消化スル所ニシテ胃弱ノ人ハ常ニ食物ノ消化ヲ遅滯シ飲食ノ味ヲ失フ此故ニ西洋ニ於テ胃ヲ健全ニスル所ノ藥酒アリ即チ之ヲ原名ストマツクビツトルト稱シ人々常ニ之ヲ用ヒ其効顕著ナリ近來我國ニモ此酒ヲ用フル人漸ク多ク……（以下原文ノ通リ）

常ニ胃弱ノ人ハ此酒ヲ用ヰテ其効ヲ知ルベシ○食物ノ消化ヲ助ケ○胃酸ヲ制シ○腸胃ヲ補ヒ○氣力ヲ增シ○胆汁ノ不足ヲ補ヒ○腹痛ヲ治シ○飲食ヲ進メ○胸ヲ開キ○睡眠ヲ安ンズル等ノ効アリ

右ノ諸効能アル良劑ナルヲ以テ今般官許ヲ得テ發賣致シ候間御試用ノ上御賞味被下度候

開店ヨリ三日ノ間粗景呈上

一 御存しの酒銘 泉の儀も不相變御愛顧奉願候

東京尾張町一丁目東側

西洋銘酒釀造所

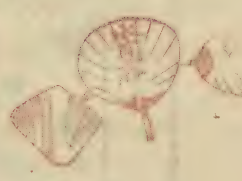
清泉堂

同和號茶食

御試驗濟
官許
荒切やにぬき紙巻煙草

弊社製造やに抜荒切紙巻煙草之儀者未ダ皇國ニ行ナハレズ辱ナクモ府廳之御試驗チ蒙御驗査濟の器械チ備ヘ許可之上煙草の深やにを抜製スル品ハ火付ヨク煙リ永く口中の熱を去り是迄世上在來の類ニあらず實に巻煙草中の第一等也江湖之諸君御ためしの上多少ニ不抱御用向を願ふ

本所區緑町四町目
製造元 明煙社

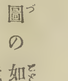


證
一 壽状 一枚
一 御殘包 一
右正ニ請取候也
明治十三年
二月三日
湯島五丁目
十番地 佐藤
田中様
御使中

京の着倒れ江戸の喰倒れと昔より云ひ習はせし俚諺なるが是と同じく歐洲にても佛國は衣に倒れ英は食に倒るとの諺ありとかや抑も龍動府は五洲人物の輻輳する所にて菓子を鬻ぐ家枚擧に遑あらず就中近頃の新製にて奇品と賞する「ボン〳〵りヽユール」と云ふは其質砂糖と酒とを以て製し味ひ美にして人感賞贊せざるはなしと聞く弊舖此菓を摸製せんとすれど如何せん數千里の波濤を隔てしのみならず其質脆弱にて航齎するを得ざれば目のあたり其品を見るに由なし遺憾の餘り先頃西洋人に謀り丹精を費して漸く調製せしに其質堅くして數日を經るとも風味變ずる事なくして其製遙に西洋製に優れりと諸彦の愛顧日に月に盛んなり弊舖調製の苦辛其効むなしからず欣喜何事かこれに加へん總て此菓に混和せる洋酒は專ら健胃に効ある者を選み且琉球泡盛保命酒等は「含蓄スル人身有害」の氣を去りて精製すれば第一胃を補ひ鬱を散ずるは云ふも更なり盧仝先生の茶會に劉伯倫が罷り出しとて此菓子あれば頰ふくらすの不興も無く上戸も下戸も共に用ゐて甘きのみかは滋養の功あるボン〳〵の告條かくの如しと云爾

新發明 美菓 **ボン〳〵**

西洋酒入數種
泡盛及ヒ保命酒入



圖の如き凸の所を爪にて毀し其口より酒を吸出し食あがるべし

鳳紋 賞牌
西洋菓子製造本舖

東京兩國若松町
風月堂
米津松造

布聞

古來の慣習漸く一變し凡そ簡便を唱ふるもの皆洋風に依らざるなし孤り洋果の製法のみいまだ我國に眞製あるを聞かず依て弊舖先般洋人の眞工を雇ひて精製せしめ加之ならず年來研究する所の法を加へ内國博覽會の盛擧あるに際し則ちケイク數種を出品せしに忝なくも鳳紋賞牌を附與せらるゝに至れり弊舖の面目誠に是に過ず依て猶一層勉勵調進して廣く販賣せんとす冀くハ江湖の諸君御愛顧あらん事を

西洋攙製御菓子數品

祝日飾菓子

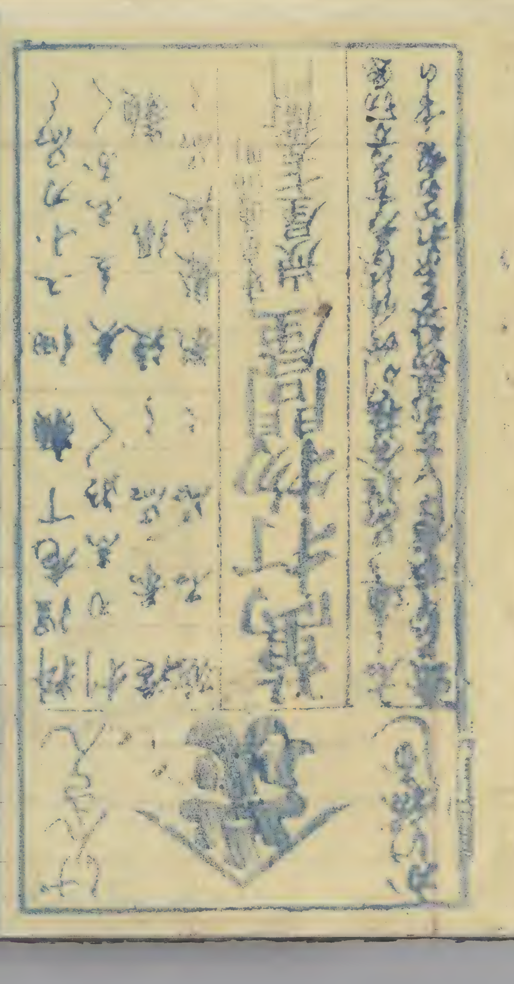
一フロンケイク
一メンチパイ
一サホチ
一グラースカスタ
一新製西洋酒入ボン〳〵

此他御注文客前ケイク及び御進物ケイク諸君の求に應じ奉調進候

東京府下日本橋區
兩國若松町
風月堂 米津松造謹製

鳳紋 賞牌
西洋菓子
製造本舖

兩國分店
京橋南鍋町
風月堂
米津松造



亞麻布廣告

夫亞麻布ノ產タルヤ
皇國未タ其製アルナキカズ余嘗テ其種子ヲ得試ニ之ヲ栽ルニ幸然土性ニ適シ頗ル其佳品ヲ得タリ然レ𪜈其莖ノ短キ紡績甚難シ之カ爲ニ百方心思ヲ焦シ漸ク織得テ端四トナスヿヲ得タリ爾ルニ洋製奇巧ノ器械ヲ得サルヲ以テ未タ其纖細緻密ノ精美ヲ盡スヿ能ハスト雖素質ノ堅靱潔白ナル能汗ヲ彈キ滌濯スル每ニ彌其質ヲ堅靱ニシ其色ヲ潔白ニス是尋常綿布ノ及所ニアラス希クハ大方ノ君子之ヲ購求シ其實用ノアル所ヲ諒知シ玉ハシヿヲ

京都上京區第二十九組堺町通三條北

三角有紀

（印刷 點林堂）

亜麻布手拭

亜麻布手拭

領收之證

一 西田博物局長 …… 封

明治十三年八月三十日 四時

田中権大書記官殿 博物局

博物局

一 ……

右正ニ請取申候以上

九月十七日

東両國狛止橋
豊田屋

上

記

一金参銭五厘

但為替手数料

右正ニ請取申候也

明治十三年

一月廿日　第四國立銀行支店

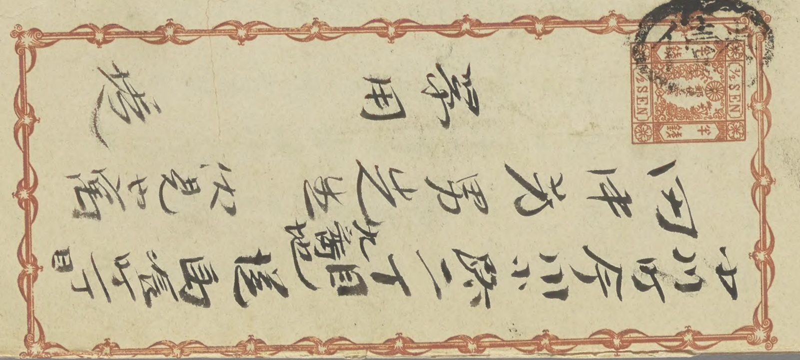
田中芳男殿

院荘旧跡

櫻碑扇

茨城縣下水戸祇園寺所蔵　関帝金印　心越禅師之所携帰也

明治十一年十二月廿日　於該寺得之



明治十二年十二月廿日 於該寺得之

茨城縣下水戸祇園寺所蔵 関帝金印 心越禅師之所携帰也

院莊旧跡 櫻碑扇

[illegible]

規則

一 封皮ヲ用ヒス又上包ヲ要セサル短文通ヲ此紙ニテ往復ノ便宜ヲ開クヘキ為メ之ヲ各地郵便役所及ヒ取扱所ニテ可売下事
一 市内ノ往復ニ用フルハ半銭ノはかき印紙國内ヲ通シテ用フル分ハ一銭ノはかき印紙ヲ可用事
一 郵便役所及ヒ取扱所無之在村ヘ差出スキハ之ニ一銭ノ賃郵便切手ヲ張付可申然ラサレハ信書等ノ組ニ属シ先ヨリ一倍ノ賃銭可辨事
一 此はかき印紙ハ三府五港郵便役所ニ於テ百枚以上ヲ一度ニ買フ者ハ五分減二百枚以上ハ一割減ニテ買ヒ得ヘキ事
一 此はかき印紙ノ面ニ郵便切手等ノ損傷有之節ハ先方ノ宿所姓名ヲ限リ認ムヘシ且郵便切手ノ損傷ハ少シモ墨ノ附カサル様ニ心ヲ用フヘシ卽ニテモ墨ノ跡ナト有之キハ認立不致廃紙ト可致事
一 此面ヘハ決シテ文字等ヲ不可認事

記

一金参円弐拾五銭
但為替手数料

右正ニ請取申候也

明治十三年
一月廿日 第四國立銀行支店

田中芳男殿

十六年三月
百張之冊

通運物受取證

届先 宿所 姓名	届先 取調	量目	十五ヶ月限 定式 運賃

封印 立會 改濟

前記ノ貨物當社物貨取扱規則御承知ニ附正ニ受取送達可仕候也

明治十 年 月 日 内國通運會社

通運物受取證

1 SEN 印紙 一錢

届先 地名 姓名	届先 取調 十五ヶ月以内	量目	運賃

右ハ封印儀正ニ受取送達可仕若萬一逓送中事故出来候節ハ當社物貨取扱規則ニ照シ取計可仕候也

明治 年 月 日

東京佐内町 内國通運會社